

(様式第 10)

令和 3 年 がん研究 第 029 号
令和 3 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

公益財団法人がん研究会 有明病院
開設者名 公益財団法人がん研究会
理事長 浅野 敏雄

公益財団法人がん研究会 有明病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和 23 年法律第 205 号)第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則(昭和 23 年厚生省令第 50 号)第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
氏 名	公益財団法人がん研究会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

公益財団法人がん研究会 有明病院

3 所在の場所

〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号 電話(03) 3520 - 0111
--

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
☒ 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科			有	無
内科と組み合わせた診療科名等				
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科	
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科	
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科	

診療実績

- (注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科
4心臓外科		
8小児外科		
診療実績		

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科	8産科
9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科			
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科					

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4)歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科		
歯科の診療体制		

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1乳腺内科	2腫瘍内科	3漢方内科	4疼痛緩和内科	5形成外科	6頭頸部外科	7病理診断科
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
0床	0床	0床	0床	686床	686床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	368人	26.2人	394.2人	看護補助者	80人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	1.4人	6.4人	理学療法士	10人	臨床検査技師	94人
薬剤師	79人	0.8人	79.8人	作業療法士	2人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	2人	その他	0人
助産師	0人	0人	0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	856人	6.0人	862人	臨床工学士	11人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	2人	0人	2人	栄養士	0人	その他の技術員	39人
歯科衛生士	5人	0人	5人	歯科技工士	0人	事務職員	267人
管理栄養士	19人	0人	19人	診療放射線技師	83人	その他の職員	32人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	19人	眼科専門医	2人
外科専門医	82人	耳鼻咽喉科専門医	12人
精神科専門医	0人	放射線科専門医	32人
小児科専門医	1人	脳神経外科専門医	0人
皮膚科専門医	2人	整形外科専門医	4人
泌尿器科専門医	7人	麻酔科専門医	30人
産婦人科専門医	22人	救急科専門医	4人
		合 計	217人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名(佐野 武) 任命年月日 2018年 7月 1日

医療安全管理委員会 委員

2016年 7月 1日 ~ 2018年 6月 30日 (2年間)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	552.0人	0人	552.0人
1日当たり平均外来患者数	1,557.8人	36.7人	1,594.5人
1日当たり平均調剤数			1,361.2剤
必要医師数			148.725人
必要歯科医師数			2人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			330人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要
集中治療室	422.31m ²	SRC	病 床 数	10床
			人工呼吸装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 209.89 m ² [移動式の場合] 台 数 0 台		心 電 計	有・無
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合] 床 積 47.06 m ² [共用室の場合] 共用する室名		心細動除去装置	有・無
化学検査室	416.7m ²	SRC	ペースメーカー	有・無
細菌検査室	78.25m ²	SRC	日立ラボスペクト008、日立ラボスペクト006、 アーキテクトi2000、ルミパルスプレスト、 ルミパルスG1200、ラボフレックス3500、コールターDXH、STA-R 、US-3100R、FOBIT-WAKO	
病理検査室	378m ²	SRC	マイクロスキャンWalkAway96、 コバスTaqMan48	
病理解剖室	72.25m ²	SRC	免疫染色装置、FISH解析装置、DISH解析装置、HE自動染色装置、 OSNA法による転移診断装置、PCR装置、PT-PCR装置、 シーケンサー(Sanger型)など	
研 究 室	1,519m ²	SRC	写真診断装置、ストライカーなど	
講 義 室	370m ²	SRC	(主な設備)遺伝子解析システム、サーマルサイクラーなど	
図 書 室	161.38m ²	SRC	室数 3 室	収容定員 272 人
			室数 1 室	蔵 書 数 22,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		85.7%	逆紹介率		84.2%
算出根拠	A: 紹介患者の数		8,058人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,519人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		614人		
	D: 初診の患者の数		10,116人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学附属 さいたま医療センタ ー教授	○	医療安全に関する業務お よび研究への従事経験を 有するため	有・ ☒ 無	1(医師)
大滝 恭弘	帝京大学医療共通 研究センター教授		法曹資格を有し、医療安 全に関する研究を行って いるため	有・ ☒ 無	1(弁護士)
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務めて おり、医療を受ける者の 立場の代表となりえるた め	有・ ☒ 無	2(医療を受 ける者)
齊藤 彰一	公益財団法人がん 研究会有明病院		前職にて医療安全管理 業務に従事した経験を有 するため	☒ 有・無	1(医師)

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	☒ 有・ ☐ 無
委員の選定理由の公表の有無	☒ 有・ ☐ 無
公表の方法	
がん研究会有明病院ホームページ	
https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
※実績無し	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
FOLFIRINOX療法 胆道がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものに限る。)	0人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	7人
ゲムシタビン静脈内投与、ナブーパクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う膵臓がん	3人
以下 余白	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	重症筋無力症	2	56		
2	神経線維腫症	9	57		
3	バージャー病	1	58		
4	全身性エリテマトーデス	3	59		
5	特発性拡張型心筋症	1	60		
6	再生不良性貧血	1	61		
7	自己免疫性溶血性貧血	1	62		
8	特発性血小板減少性紫斑病	3	63		
9	特発性間質性肺炎	1	64		
10	原発性胆汁性肝硬変	1	65		
11	クローン病	1	66		
12	潰瘍性大腸炎	21	67		
13	IgG4関連疾患	1	68		
14			69		
15			70		
16			71		
17			72		
18			73		
19			74		
20			75		
21			76		
22			77		
23			78		
24			79		
25			80		
26			81		
27			82		
28			83		
29			84		
30			85		
31			86		
32			87		
33			88		
34			89		
35			90		
36			91		
37			92		
38			93		
39			94		
40			95		
41			96		
42			97		
43			98		
44			99		
45			100		
46			101		
47			102		
48			103		
49			104		
50			105		
51			106		
52			107		
53			108		
54			109		
55			110		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類
・ 歯科外来診療環境体制加算1
・ 特定機能病院入院基本料 7:1
・ 救急医療管理加算
・ 診療録管理体制加算1
・ 医師事務作業補助体制加算1 30:1
・ 急性期看護補助体制加算 50:1
・ 看護職員夜間配置加算 12:1配置加算1
・ 療養環境加算
・ 重症者等療養環境特別加算
・ 無菌治療室管理加算1
・ 無菌治療室管理加算2
・ 緩和ケア診療加算
・ 栄養サポートチーム加算
・ 医療安全対策加算1
・ 感染防止対策加算1—抗菌薬使用適正加算
・ 患者サポート充実体制加算
・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・ 後発医薬品使用体制加算3
・ 病棟薬剤業務実施加算1
・ 病棟薬剤業務実施加算2
・ データ提出加算2及び4
・ 入退院支援加算1—入院時支援加算
・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
・ 特定集中治療室管理料3—早期離床・リハビリテーション加算 —早期栄養介入管理加算
・ 緩和ケア病棟入院料1
・
・
・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類
・ 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・ がん性疼痛緩和指導管理料
・ がん患者指導管理料イ
・ がん患者指導管理料ロ
・ がん患者指導管理料ハ
・ がん患者指導管理料ニ
・ 婦人科特定疾患治療管理料
・ 外来緩和ケア管理料
・ 小児運動器疾患指導管理料
・ 夜間休日救急搬送医学管理料—救急搬送看護体制加算
・ 外来放射線照射診療料
・ ニコチン依存症管理料
・ 療養・就労両立支援指導料—相談支援加算
・ がん治療連携計画策定料
・ 薬剤管理指導料
・ 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・ 医療機器安全管理料1
・ 医療機器安全管理料2
・ 遺伝学的検査
・ BRCA1／2遺伝子検査
・ がんゲノムプロファイリング検査
・ HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・ ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・ 検体検査管理加算(Ⅰ)
・ 検体検査管理加算(Ⅳ)
・ 国際標準検査管理加算
・ 遺伝カウンセリング加算
・ 遺伝性腫瘍カウンセリング加算

・ ロービジョン検査判断料
・ 画像診断管理加算1
・ 画像診断管理加算2
・ ホットロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ CT撮影及びMRI撮影
・ 冠動脈CT撮影加算
・ 乳房MRI撮影加算
・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ 外来化学療法加算1
・ 無菌製剤処理料
・ 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
・ 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・ 呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
・ がん患者リハビリテーション料
・ リンパ浮腫複合的治療料
・ 集団コミュニケーション療法料
・ 歯科口腔リハビリテーション料2
・ 処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1
・ 導入期加算1
・ CAD/CAM冠
・ センチネルリンパ節加算
・ 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算
・ 組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・ 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
・ 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・ 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・ 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・ 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(乳がんセンチネルリンパ節加算1)
・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(センチネルリンパ節生検(併用))
・ 乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))

・ ギテル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
・ 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻胃鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
・ 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
・ 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）
・ 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
・ 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・ 腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・ 腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
・ 腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 胆管悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
・ 腹腔鏡下肝切除術
・ 腹腔鏡下臍腫瘍摘出術
・ 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
・ 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 腹腔鏡下臍頭部腫瘍切除術
・ 腹腔鏡下臍頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剝離術
・ 腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・ 人工尿道括約筋植込・置換術
・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）

・ 腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・ 手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1
・ 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) (医科点数表第2章第10部手術の通則の16に規定する手術)
・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・ 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・ 輸血管理料Ⅱ
・ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・ 歯周組織再生誘導手術
・ 麻酔管理料(Ⅰ)
・ 麻酔管理料(Ⅱ)
・ 放射線治療専任加算
・ 外来放射線治療加算
・ 高エネルギー放射線治療
・ 1回線量増加加算
・ 強度変調放射線治療(IMRT)
・ 画像誘導放射線治療(IGRT)
・ 体外照射呼吸性移動対策加算
・ 定位放射線治療
・ 定位放射線治療呼吸移動対策加算
・ 画像誘導密封小線源治療加算
・ 病理診断管理加算2
・ デジタル病理画像による病理診断
・ 悪性腫瘍病理組織標本加算
・ 口腔病理診断管理加算2
・ クラウン・ブリッジ維持管理料
・ 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。
	2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年 0 回 新型コロナウイルス感染症の影響でCPCは開催できていないが、 同内容のカンファレンスを14回実施した
剖 検 の 状 況	剖検症例数 7 例 / 剖検率 1.69 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託
1	Stage I/II舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験	福島啓文	頭頸科	1,000,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
2	EGFR 遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌におけるEGFR 阻害薬耐性機序 (C797S 耐性変異)を克服する新規治療法の確立を目指した研究	内堀健/片山量平	呼吸器内科	2,000,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
3	SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAスクリーニングに基づくFGFR遺伝子異常を有する難治性の治癒切除不能な進行・再発固形がんに対するTAS-120のバスケット型医師主導治験	篠崎英司	消化器化学療法科	1,200,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
4	TCR多様性に基づく免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測に関する研究	北野滋久	がん免疫治療開発部	100,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
5	遺伝子組み換え麻疹ウイルスを用いた抗がんウイルス療法の臨床研究	高橋俊二	総合腫瘍科	10,000,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
6	急速進行性がん患者・家族と医師の共感的コミュニケーション促進のための統合支援プログラムの有効性を検証する無作為化比較試験	尾阪将人	肝胆膵内科	990,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
7	局所進行胃癌に対する術前科学療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験	布部創也	胃外科	300,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
8	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	阿江啓介	整形外科	300,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
9	次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	柳谷典子	呼吸器内科	1,000,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
10	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験	大橋 学	胃外科	100,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
11	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	高橋俊二	総合腫瘍科	650,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
12	腎機能低下時、軽体重時におけるオシメルチニブ療法の薬物動態、用量反応関係を検討する第Ⅰ相試験	北園 聡	呼吸器内科	250,000	委 AMED委託費 (革新的がん)
13	切除不能局所進行食道扁平癌を対象とした化学放射線療法後の逐次治療としての抗PD-1抗体薬療法の安全性・有効性・proof-of-concept (POC)を検討する多施設共同臨床第Ⅰb/Ⅱ相試験	山口研成	消化器化学療法科	2,000,000	委 AMED委託費 (革新的がん)

14	切除不能局所進行肺癌に対する標準治療の確立に関する研究	尾阪将人	肝胆膵内科	0	委	AMED委託費 (革新的がん)
15	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究	坂井威彦	乳腺外科	300,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
16	頭頸部表在癌全国登録調査に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究	三谷浩樹	頭頸科	61,539	委	AMED委託費 (革新的がん)
17	難治性神経芽腫に対する分化誘導療法併用下でのエピジェネティック治療開発	北野滋久	がん免疫治療開発部	2,000,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
18	日本人BRCA未発症変異保持者に対する乳癌リスク低減手法の開発研究	大野真司	乳腺センター	1,630,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
19	乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援	矢野智之	形成外科	698,400	委	AMED委託費 (革新的がん)
20	放射線治療の品質管理、ISRTの標準手順の確立	小口正彦	放射線治療部	55,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
21	臨床病期I/II/III食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験	渡邊雅之	食道外科	100,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
22	VAV1リン酸化亢進を伴う濾胞性ヘルパーT細胞リンパ腫に対するダサチニブの適応拡大を目指す研究	寺内 隆	核医学部	0	委	AMED委託費 (厚労系他)
23	シーズA123 乳がん温存手術における乳房形態の三次元予測システムの開発	上野貴之	乳腺外科	1,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
24	医師主導治験の実施(症例登録及びプロトコル遂行)	温泉川真由	婦人科	2,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
25	京都大学大学院における臨床統計家育成のための教育カリキュラムの標準化のための研究開発	石塚直樹	企画品質管理部	769,230	委	AMED委託費 (厚労系他)
26	教育プログラムの開発・検討	山原 有子	臨床研究開発センター	700,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
27	産学連携全国がんゲノムスクリーニング (SCRUM Japan) 患者レジストリを活用した BRAF 遺伝子変異陽性切除不能進行・再発大腸がんを対象にした医師主導治験	山口 研成	消化器化学療法科	1,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)

28	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	金尾祐之	婦人科	100,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
29	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	大野真司	乳腺センター	500,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
30	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	寺内隆司	核医学部	2,500,000	委	国がん研究 開発費
31	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	尾阪将人	肝胆膵内科	0	委	国がん研究 開発費
32	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	布部創也	胃外科	600,000	委	国がん研究 開発費
33	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	原 文堅	乳腺内科	0	委	国がん研究 開発費
34	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	古川孝広	がん早期臨床開発部	0	委	国がん研究 開発費
35	外科手術前後補助薬物療法早期臨床試験の研究体制確立に関する研究	伊藤 寛倫	肝胆膵外科	200,000	委	国がん研究 開発費
36	がん緩和ケアにおけるアンメットニーズに関する研究	清水 研	腫瘍精神科	0	委	国がん研究 開発費
37	がん情報提供の自動化に向けた研究	花出正美	看護部	0	委	国がん研究 開発費
38	経血管治療IVRに関する研究	松枝 清	画像診断部	0	委	国がん研究 開発費
39	がん細胞および免疫応答解析に基づく免疫療法効果予測診断法の確立	西尾誠人	呼吸器内科	26,923,077	委	AMED委託費 (次世代がん)
40	NGS技術を駆使した遺伝学的解析にせる家族性乳がんの原因遺伝子と同定と標準化医療構築	大野 真司	乳腺センター	45,512,308	委	AMED委託費 (次世代がん)
41	メチル化ctDNAにより大腸がん根治術後補助療法モニタリング・システムの開発	長山 聡	大腸外科	1,000,000	委	AMED委託費 (次世代がん)

42	腸内細菌を指標とした大腸がんスクリーニング方法の確立とそのがん予防への応用 / 腸内細菌を利用した大腸がんの早期診断方法及び発症リスク評価方法の開発	長山 聡	大腸外科	5,500,000	委	AMED委託費 (次世代がん)
43	ヒト腫瘍組織、正常組織の採取と解析試料作成と腫瘍浸潤各種免疫担当細胞の解析	北野 滋久	がん免疫治療開発部	2,615,385	委	AMED委託費 (次世代がん)
44	3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」に関する教育と正しい情報伝達に関する研究	高橋 俊二	総合腫瘍科	300,000	補	厚労科研補助金
45	小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究-患者本位のがん医療の実現を目指して	大野 真司	乳腺センター	100,000	補	厚労科研補助金
46	BRCAnessを利用した遺伝性乳がんの病理性予測・薬物療法効果予測法の確立	吉田 玲子	遺伝子診療部	1,300,000	補	文科省科研費
47	EGFR-C797S/T790M変異による多剤耐性の検出と克服の分子基盤研究	内堀 健	呼吸器内科	1,200,000	補	文科省科研費
48	がんクリニカルシーケンス解析に基づいた「骨軟部腫瘍分子標的」の作用機序解明	北野 滋久	がん免疫治療開発部	100,000	補	文科省科研費
49	スマートデバイスを用いたマイクロサージャリートレーニングシステムの開発	辛川 領	形成外科	700,000	補	文科省科研費
50	リキッドバイオプシーに基づく直腸癌術前放射線化学療法の効果予測法の開発	上野 雅資	大腸外科	1,000,000	補	文科省科研費
51	遺伝子変異情報に基づいた大腸癌に対する新規治療戦略の開発	長山 聡	大腸外科	900,000	補	文科省科研費
52	革新的治療法開発を目指した抗癌剤耐性に関わる腸内細菌叢の網羅的探索	今村 裕	食道外科	100,000	補	文科省科研費
53	活性化ストローマ細胞とのクロストークを介した炎症性発癌メカニズムの解明	今村 裕	食道外科	50,000	補	文科省科研費
54	間質応答を利用したホルモン受容体陽性乳がんの治療戦略の構築	上野 貴之	乳腺外科	5,600,000	補	文科省科研費
55	基礎研究解析データに基づく大腸がん治療薬の非網羅的バイオマーカー検証研究	末永 光邦	消化器化学療法科	1,000,000	補	文科省科研費

56	個別化医療のための人工知能・深層学習に対する統計学的評価法の開発	牛嶋大	臨床研究・開発センター	150,000	補	文科省科研費
57	抗VEGFR2抗体投与後早期のVEGF-A上昇の臨床的意義と新たな治療戦略の開発	若槻尊	消化器化学療法科	500,000	補	文科省科研費
58	骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索	阿江啓介	整形外科	100,000	補	文科省科研費
59	子宮頸がん放射線治療におけるラディオミクス解析と標的体積縮小モデルの構築	中野正寛	放射線治療部	800,000	補	文科省科研費
60	人工知能を使用した上部消化管内視鏡における食道癌診断の検討	由雄敏之	上部消化管内科	400,000	補	文科省科研費
61	先端モデル動物支援プラットフォーム	牛嶋大	臨床研究・開発センター	410,000	補	文科省科研費
62	前立腺癌に対する高線量率組織内照射の多施設プラットフォーム構築と国際共同研究開始	吉岡靖生	放射線治療部	700,000	補	文科省科研費
63	体液試料からのオルガノイドによる化学療法の治療効果予測モデルの有用性	大木暁	消化器化学療法科	1,000,000	補	文科省科研費
64	大規模経時採取検体を用いた大腸がん肝転移巣の化学療法耐性化シグナルシフトの解明	長山聡	大腸外科	400,000	補	文科省科研費
65	胆汁を用いたリキッドバイオプシーの確立と胆管がん術前診断への応用	伊藤寛倫	肝胆膵外科	1,600,000	補	文科省科研費
66	直腸癌微小リンパ節転移検出による革新的直腸癌治療戦略の構築	日吉幸晴	大腸外科	1,100,000	補	文科省科研費
67	乳癌における免疫モニタリングと新規免疫治療の開発	小野麻紀子	総合腫瘍科	900,000	補	文科省科研費
68	肥満合併食道癌における癌細胞-脂肪細胞間相互作用の解明と新規治療法の開発	渡邊雅之	食道外科	900,000	補	文科省科研費
69	非EBV非MSI-high食道胃接合部腺癌の免疫回避機構解明と新規免疫治療の開発	井田智	胃外科	1,300,000	補	文科省科研費

70	放射線照射により胃がん幹細胞に生じる免疫学的プロファイルの変化	熊谷厚志	胃外科	900,000	補	文科省科研費
71	免疫ゲノム解析による直腸癌術前放射線化学療法の治療効果に寄与する免疫環境の解明	秋吉高志	大腸外科	1,000,000	補	文科省科研費
72	Radiogenomicsによる直腸がん放射線化学療法の効果予測マーカーの確立	福長洋介	大腸外科	1,300,000	補	文科省科研費
73	新規免疫治療創出を目指したMSI-low上部消化管腺癌の網羅的免疫・ゲノム解析	今村裕	食道外科	1,100,000	補	文科省科研費
74	子宮頸部腺系病変早期発見のための新しいAI細胞診の確立	杉山裕子	細胞診断部	2,000,000	補	文科省科研費
75	微小肺血管計測による肺移植後慢性拒絶反応の早期診断法の開発	佐藤嘉尚	画像診断部	2,128,032	補	文科省科研費
76	乳がんにおけるIL17RBの細胞生物学的・腫瘍免疫学的・臨床的意義の解明	尾崎由記範	乳腺内科	1,000,000	補	文科省科研費
77	nCounterを用いた遺伝子発現解析による肺扁平上皮癌と頭頸部癌肺転移の鑑別	一瀬 淳二	呼吸器外科	2,200,000	補	文科省科研費
78	IPF合併肺癌の機序解明につながる非侵襲的Exosome解析	山道 堯	呼吸器外科	2,000,000	補	文科省科研費
79	Development of training and simulation programs for tracheobronchial reconstruction surgery using a three-dimensional operable airway model from clinical computed tomography data	橋本浩平	呼吸器外科	1,639,734	補	文科省科研費
80	肉腫における腫瘍内免疫応答の解析に基づく最適な複合的免疫療法の検討	佐藤靖祥	総合腫瘍科	1,500,000	補	文科省科研費
81	若年発症舌がんに対する臨床的特徴と遺伝学的背景に関する検討	大本晃弘	総合腫瘍科	1,300,000	補	文科省科研費
82	生検組織を用いたリン酸化シグナル解析によるがん多様性機序の解明と精密医療への応用	長山聡	大腸外科	100,000	補	文科省科研費
83	抗横紋筋抗体の病因論的自己抗体としての意義とPD-1ミオパチーの疾患概念の確立	北野滋久	がん免疫治療開発部	200,000	補	文科省科研費

84	人工知能(AI)の利用がもたらす生命倫理問題—全体像把握と今後の研究方向提示	平澤俊明	上部消化管内科	0	補	文科省科研費
85	人工知能(AI)の利用がもたらす生命倫理問題—全体像把握と今後の研究方向提示	平澤俊明	上部消化管内科	200,000	補	文科省科研費
86	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	渡邊雅之	食道外科	100,000	補	文科省科研費
87	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	今村裕	食道外科	50,000	補	文科省科研費
88	バイオマーカーに沿ったスタチン併用大腸癌治療法の開発	日吉幸晴	大腸外科	50,000	補	文科省科研費
89	腎細胞がんにおける炎症と免疫の関連メカニズムの解明とその新規免疫療法への応用	北野滋久	がん免疫治療開発部	100,000	補	文科省科研費
90	レーザパルスジェットメスと血流画像計測を用いた形成外科皮弁形成術術中支援システム	矢野智之	形成外科	50,000	補	文科省科研費
91	AIを用いたCTテクスチャ解析による大腸癌肝転移に対する化学療法の治療効果予測	今村裕	食道外科	100,000	補	文科省科研費
92	AIを用いたCTテクスチャ解析による大腸癌肝転移に対する化学療法の治療効果予測	日吉幸晴	大腸外科	50,000	補	文科省科研費
93	ctDNAメチル化検出を実装する新たなアプローチによる大腸癌再発早期診断法の確立	長山聡	大腸外科	300,000	補	文科省科研費
94	子宮頸癌に対する本邦での低侵襲手術の再発リスク因子の検証	金尾祐之	婦人科	30,000	補	文科省科研費
95	骨軟部腫瘍の「小胞体ストレス」機能解析に基づいた新規治療法開発	北野滋久	がん免疫治療開発部	50,000	補	文科省科研費

12

計 95 件

- (注 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される)
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入す
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nishio, M., Yoshida, T., Kumagai, T., et al.	呼吸器内科	Brigatinib in Japanese patients with ALK-positive non-small cell lung cancer previously treated with alectinib and other tyrosine kinase inhibitors: Outcomes of the phase 2 J-ALTA trial.	J. Thorac. Oncol., 2021 Mar: 16 (3): 452-463	Original Article
2	Nishio, M., Felip, E., Orlov, S., et al.	呼吸器内科	Final overall survival, other efficacy and safety results from ASCEND-3: Phase II study of ceritinib in ALK-naïve patients with ALK-rearranged non-small-cell lung cancer.	J. Thorac. Oncol., 2020 Apr: 15 (4): 609-617	Original Article
3	Oba, A., Stoop, T. F., L.	肝胆膵外科	Global survey on pancreatic surgery during the COVID-19 pandemic.	Ann. Surg., 2020 Aug: 272 (2): e87-e93	Original Article
4	Yuda, M., Yamashita, K., Okamura, A., et al.	食道外科	Influence of preoperative oropharyngeal microflora on the occurrence of postoperative pneumonia and survival in patients undergoing esophagectomy for esophageal cancer.	Ann. Surg., 2020 Dec: 272 (6): 1035-1043	Original Article
5	Namikawa, K., Hirasawa, T., Nakano, K., et al.	上部消化管内科	Artificial intelligence-based diagnostic system classifying gastric cancer and ulcer: Comparison between the original and newly developed systems.	Endoscopy, 2020 Dec: 52 (12): 1077- 1083	Original Article
6	Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Ishizuka, N., et al.	上部消化管内科	Diagnostic performance in gastric cancer is higher using endocytoscopy with narrow-band imaging than using magnifying endoscopy with narrow-band imaging.	Gastric Cancer, 2021. Mar:24 (2): 417-427	Original Article
7	Takahashi, R., Ohashi, M., Hiki, N., et al.	胃外科	Risk factors and prognosis of gastric stasis, a crucial problem after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for early middle-third gastric cancer.	Gastric Cancer, 2020 Jul: 23 (4): 707-715	Original Article
8	Kano, Y., Ohashi, M., Ida, S., et al.	胃外科	Therapeutic value of splenectomy to dissect splenic hilar lymph nodes for type 4 gastric cancer involving the greater curvature, compared with other types.	Gastric Cancer, 2020 Sep:23 (5): 927-936	Original Article
9	Ishioka, M., Yoshio, T., Miyamoto, Y., et al.	上部消化管内科	Incidence of metachronous cancer after endoscopic submucosal dissection: a comparison between undifferentiated-type and differentiated-type early gastric cancer.	Gastrointest. Endosc., 2021. Mar: 93 (3): 557-564.e1	Original Article
10	Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Ishizuka, N., et al.	上部消化管内科	Performance of a computer-aided diagnosis system in diagnosing early gastric cancer using magnifying endoscopy videos with narrow-band imaging (with videos).	Gastrointest. Endosc., 2020 Oct: 92 (4): 856-865. e1	Original Article
11	Sato, Y., Wada, I., Odaira, K., et al.	総合腫瘍科	Integrative immunogenomic analysis of gastric cancer dictates novel immunological classification and the functional status of tumor-infiltrating cells	Clin. Transl. Immunol., 2020 Sep (オンライン): 9 (10): e1194	Original Article
12	Sakakibara, R., Kobayashi, M., Takahashi, N.,	病院病理部	Insulinoma-associated protein 1 (INSM1) is a better marker for the diagnosis and prognosis estimation of small cell lung carcinoma than neuroendocrine phenotype markers such as chromogranin A, synaptophysin, and CD56.	Am. J. Surg. Pathol., 2020 Jun: 44 (6): 757-764	Original Article
13	Yoshimizu, S., Kawachi, H., Yamamoto, Y., et al.	上部消化管内科	Clinicopathological features and risk factors for lymph node metastasis in early-stage non-ampullary duodenal adenocarcinoma.	J. Gastroenterol., 2020 Aug:55 (8): 754- 762, 2020	Original Article
14	Inari, H., Teruya, N., Kishi, M., et al.	乳腺外科	Survival in cytologically proven node-positive breast cancer patients with nodal pathological complete response after neoadjuvant chemotherapy.	Cancers (Basel), 2020 Sep: 12 (9): E2633	Original Article
15	Takemura, K., Yuasa, T., Fujiwara, R., et al.	泌尿器科	Prognostic significance of the controlling nutritional status (CONUT) score in patients with advanced renal cell carcinoma treated with nivolumab after failure of prior tyrosine kinase inhibitors.	J. Urol., 2020 Dec: 204 (6): 1166-1172	Original Article
16	Murahashi, S., Akiyoshi, T., Sano, T., et al.	大腸外科	Serial circulating tumour DNA analysis for locally advanced rectal cancer treated with preoperative therapy: Prediction of pathological response and postoperative	Br. J. Cancer, 2020 Sep: 123 (5): 803- 810	Original Article
17	Oba, A., Inoue, Y., Ono, Y., et al.	肝胆膵外科	Staging laparoscopy for pancreatic cancer using intraoperative ultrasonography and fluorescence imaging: the SLING trial	Br. J. Surg., 2021 Mar: 108 (2): 115-118	Original Article

18	Ri, M., Nunobe, S., Honda, M., et al.	胃外科	Gastrectomy with or without omentectomy for cT3-4 gastric cancer: A multicentre cohort study.	Br. J. Surg., 2020 Nov: 107 (12): 1640-1647	Original Article
19	Akiyoshi, T., Gotoh, O., Tanaka, N., et al.	大腸外科	T-cell complexity and density are associated with sensitivity to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with rectal cancer.	Cancer Immunol. Immunother., 2021 Feb:70 (2): 509-518	Original Article
20	Nakayama, I., Takahari, D., Wakatsuki, T., et al.	消化器化学療法科	Single-institute comparison of the efficacy of systemic chemotherapy for oesophagogastric junction adenocarcinoma and stomach adenocarcinoma in a metastatic setting.	ESMO Open, 2020 Apr (eCollection): 5 (2): e000595	Original Article
21	Imamura, Y., Toihata, T., Haraguchi, I., et al.	食道外科	Immunogenic characteristics of microsatellite instability-low esophagogastric junction adenocarcinoma based on clinicopathological, molecular, immunological and survival analyses.	Int. J. Cancer, 2021 Mar: 148 (5): 1260-1275	Original Article
22	Yoshida, R., Hagio, T., Kaneyasu, T., et al.	臨床遺伝医療部	Pathogenicity assessment of variants for breast cancer susceptibility genes based on BRCAness of tumor sample.	Cancer Sci., 2021 Mar: 112 (3): 1310-1319	Original Article
23	Nishio, M., Seto, T., Reck, M., et al.	呼吸器内科	Ramucirumab or placebo plus erlotinib in EGFR-mutated, metastatic non-small-cell lung cancer: East Asian subset of RELAY.	Cancer Sci., 2020 Dec: 111 (12): 4510-4525	Original Article
24	Nishio, M., Kato, T., Niho, S., et al.	呼吸器内科	Safety and efficacy of first-line dacomitinib in Japanese patients with advanced non-small cell lung cancer.	Cancer Sci., 2020 May: 111 (5): 1724-1738	Original Article
25	Tamashiro, A., Yoshio, T., Ishiyama, A., et al.	上部消化管内科	Artificial-intelligence-based detection of pharyngeal cancer using convolutional neural networks.	Dig. Endosc., 2020 Nov: 32 (7): 1057-1065	Original Article
26	Sasaki, T., Ishibashi, R., Yoshida, S., et al.	肝胆膵内科	Comparing the mechanical properties of a self-expandable metallic stent for colorectal obstruction: a proposed measurement method of axial force using a new measurement machine.	Dig. Endosc., 2021 Jan: 33 (1): 170-178	Original Article
27	Ikenoyama, Y., Hirasawa, T., Ishioka, M., et al.	上部消化管内科	Detecting early gastric cancer: Comparison between the diagnostic ability of convolutional neural networks and endoscopists.	Dig. Endosc., 2021.0133 (1): 141-150	Original Article
28	Hirasawa, T., Yamamoto, N., Sano, T.	上部消化管内科	Is endoscopic resection appropriate for type 3 gastric neuroendocrine tumors? A retrospective multicenter study.	Dig. Endosc., 2021 Mar: 33 (3): 408-417	Original Article
29	Chino, A., Kawachi, H., Takamatsu, M.	下部消化管内科	Macroscopic and microscopic morphology and molecular profiling to distinguish heterogeneous traditional serrated adenomas of the colorectum.	Dig. Endosc., 2020 Sep: 32 (6): 921-931	Original Article
30	Nakano, K., Kawachi, H., Chino, A., et al.	下部消化管内科	Phenotypic variations of gastric neoplasms in familial adenomatous polyposis are associated with the endoscopic status of atrophic gastritis.	Dig. Endosc., 2020 May: 32 (4): 547-556	Original Article
31	Tozuka, T., Kitazono, S., Sakamoto, H., et al.	呼吸器内科	Addition of ramucirumab enhances docetaxel efficacy in patients who had received anti-PD-1/PD-L1 treatment.	Lung Cancer, 2020 Jun:144: 71-75	Original Article
32	Nakashima, Y., Inamura, K., Ninomiya, H.	病院病理部	Frequent expression of conventional endothelial markers in pleural mesothelioma: Usefulness of claudin-5 as well as combined traditional markers to distinguish mesothelioma from angiosarcoma.	Lung Cancer, 2020 Oct: 148: 20-2	Original Article
33	Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M.	呼吸器外科	Outcomes of nodal upstaging comparing video-assisted thoracoscopic surgery versus open thoracotomy for lung cancer	Lung Cancer, 2021 Jan: 152: 78-85	Original Article
34	Takeda, Y., Saiura, A., Takahashi, Y., et al.	肝胆膵外科	Conservative drain management increases the incidence of grade B postoperative pancreatic fistula without increasing serious complications: Does persistent drainage reflect the quality of pancreatic surgery or institutional policy?	J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2020 Dec: 27 (12): 1011-1018	Original Article
35	Inoue, Y., Saiura, A., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	Neoadjuvant gemcitabine and nab-paclitaxel for borderline resectable pancreatic cancers: Intention-to-treat analysis compared with upfront surgery.	J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2021 Feb: 28 (2): 143-155	Original Article
36	Okamura, A., Matsuda, S., Mayanagi, S., et al.	食道外科	Clinical significance of pretherapeutic serum squamous cell carcinoma antigen level in patients with neoadjuvant chemotherapy for esophageal squamous cell carcinoma.	Ann. Surg. Oncol., 2021 Feb: 28 (2): 1209-1216	Original Article
37	Okamura, A., Watanabe, M., Kanamori, J., et al.	食道外科	Digestive reconstruction after pharyngolaryngectomy with total esophagectomy.	Ann. Surg. Oncol., 2021 Jan: 28 (2): 695-701	Original Article
38	Mise, Y., Hasegawa, K., Saiura, A.	肝胆膵外科	A multicenter phase 2 trial to evaluate the efficacy of mFOLFOX6 + cetuximab as induction chemotherapy to achieve R0 surgical resection for advanced colorectal liver metastases (NEXTO Trial).	Ann. Surg. Oncol., 2020 Oct: 27 (11): 4188-4195	Original Article

39	Suzuki, T., Okamura, A., Watanabe, M., et al.	消化器化学療法科	Neoadjuvant chemoradiotherapy with cisplatin plus fluorouracil for borderline resectable esophageal squamous cell carcinoma.	Ann. Surg. Oncol., 2020 May; 27 (5): 1510–1517	Original Article
40	Nakanishi, R., Akiyoshi, T., Toda, A., et al.	大腸外科	Radiomics approach outperforms diameter criteria for predicting pathological lateral lymph node metastasis after neoadjuvant (chemo)radiotherapy in advanced low rectal cancer.	Ann. Surg. Oncol., 2020 Oct; 27 (11): 4273–4283	Original Article
41	Fujiwara, M., Yuasa, T., Komai, Y., et al.	泌尿器科	Efficacy, prognostic factors, and safety profile of enzalutamide for non-metastatic and metastatic castration-resistant prostate cancer: A retrospective single-Center analysis in Japan.	Target. Oncol., 2020 Oct; 15 (5): 635–643,	Original Article
42	Takemura, K., Yuasa, T., Inamura, K., et al.	泌尿器科	Impact of serum γ -glutamyltransferase on overall survival in patients with metastatic renal cell carcinoma in the era of targeted therapy.	Target. Oncol., 2020 Jun; 15 (3): 347–356	Original Article
43	Namikawa, K., Yoshio, T., Yoshimizu, S., et al.	上部消化管内科	Clinical outcomes of endoscopic resection of preoperatively diagnosed non-circumferential T1a-mucosalis mucosae or T1b-submucosa 1 esophageal squamous cell carcinoma.	Sci. Rep., 2021 Mar; 11 (1): 6554	Original Article
44	Osumi, H., Muroi, A., Sakahara, M., et al.	消化器化学療法科	Evaluation of the RAS signaling network in response to MEK inhibition using organoids derived from a familial adenomatous polyposis patient.	Sci. Rep., 2020 Oct; 10 (1): 17455	Original Article
45	Tanaka, Y., Shimizu, Y., Ikki, A., et al.	婦人科	A retrospective study of internal small bowel herniation following pelvic lymphadenectomy for gynecologic carcinomas.	Sci. Rep., 2021 Jan; 11 (1): 1441	Original Article
46	Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., et al.	上部消化管内科	Undifferentiated-type predominant mixed-type early gastric cancer is a significant risk factor for requiring additional surgeries after endoscopic submucosal dissection.	Sci. Rep., 2020 Apr; 10 (1): 6748	Original Article
47	Matsui, S., Murata, K., Fukunaga, Y., et al.	大腸外科	Analysis of clinicopathological characteristics of appendiceal tumors in Japan: A multicenter collaborative retrospective clinical study: A Japanese nationwide survey.	Dis. Colon Rectum, 2020 Oct; 63 (10): 1403–1410	Original Article
48	Takahashi, S., Tahara, M., Ito, K., et al.	総合腫瘍科	Safety and effectiveness of lenvatinib in 594 patients with unresectable thyroid cancer in an all-case post-marketing observational study in Japan.	Adv. Ther., 2020 Sep; 37 (9): 3850–3862,	Original Article
49	Ohno, S., Saji, S., Masuda, N., et al.	乳腺外科	Relationships between pathological factors and long-term outcomes in patients enrolled in two prospective randomized controlled trials comparing the efficacy of oral tegafur-uracil with CMF (NSAS-BC 01 trial and CUBC trial)	Breast Cancer Res. Treat., 2021 Feb; 186 (1): 135–147	Original Article
50	Takeda, T., Sasaki, T., Inoue, Y., et al.	肝胆膵内科	Comprehensive comparison of clinicopathological characteristics, treatment, and prognosis of borderline resectable pancreatic cancer according to tumor location.	Pancreatology, 2020 Sep; 20 (6): 1123–1130	Original Article
51	Ushida, Y., Inoue, Y., Ito, H., et al.	肝胆膵外科	High CA19-9 level in resectable pancreatic cancer is a potential indication of neoadjuvant treatment	Pancreatology, 2021 Jan; 21 (1): 130–137	Original Article
52	Ichinose, J., Kawaguchi, Y., Nakao, M., et al.	呼吸器外科	Utility of maximum CT value in predicting the invasiveness of pure ground-glass nodules.	Clin. Lung Cancer, 2020 May; 21 (3): 281–287	Original Article
53	Takahashi, S., Uemura, M., Kimura, T., et al.	総合腫瘍科	A phase I study of enfortumab vedotin in Japanese patients with locally advanced or metastatic urothelial carcinoma.	Invest. New Drugs., 2020 Aug; 38 (4): 1056–1066	Original Article
54	Ooki, A., Morita, S., Tsuiji, A., et al.	消化器化学療法科	Disagreement between patient- and physician-reported outcomes on symptomatic adverse events as poor prognosis in patients treated with first-line cetuximab plus chemotherapy for unresectable metastatic colorectal cancer: Results of Phase II QUACK trial.	Cancer Med., 2020 Dec; 9 (24): 9419–9430	Original Article
55	Osumi, H., Shinozaki, E., Ooki, A., et al.	消化器化学療法科	Early hypertension and neutropenia are predictors of treatment efficacy in metastatic colorectal cancer patients administered FOLFIRI and vascular endothelial growth factor inhibitors as second-line chemotherapy	Cancer Med., 2021 Jan; 10 (2): 615–625	Original Article
56	Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., et al.	呼吸器外科	Oncological outcomes after lobe-specific mediastinal lymph node dissection via multiport video-assisted thoracoscopic surgery.	Eur. J. Cardiothorac. Surg., 2020 Aug; 58 (Suppl.1): i92–i99	Original Article

57	Yamashita, K., Kohashi, K., Yamada, Y., et al.	病院病理部	Prognostic significance of the MDM2/HMGA2 ratio and histological tumor grade in dedifferentiated liposarcoma	Genes Chromosomes Cancer, 2021 Jan: 60 (1): 26–37	Original Article
58	Kitagawa, Y., Osumi, H., Shinozaki, E., et al.	消化器化学療法科	Clinical utility of polyethylene glycol conjugated granulocyte colony-stimulating factor (PEG-G-CSF) for preventing severe neutropenia in metastatic colorectal cancer patients treated with FOLFOXIRI plus bevacizumab: A single-center retrospective study	BMC Cancer, 2020 Apr: 20 (1): 35	Original Article
59	Inari, H., Teruya, N., Kishi, M., et al.	乳腺外科	Clinicopathological features of breast cancer patients with internal mammary and/or supraclavicular lymph node recurrence without distant metastasis.	BMC Cancer, 2020 Sep: 20 (1): 932	Original Article
60	Sawada, M., Kasuga, A., Mie, T., et al.	肝胆膵内科	Modified FOLFIRINOX as a second-line therapy following gemcitabine plus nab-paclitaxel therapy in metastatic pancreatic cancer	BMC Cancer, 2020 May: 20 (1): 449	Original Article
61	Matsui, S., Fukunaga, Y., Iwagami, M., et al.	大腸外科	Long-term outcomes of needlescopic surgery in patients with colon cancer: A retrospective cohort study.	Surg. Endosc., 2021 Mar: 35 (3): 1039–1045	Original Article
62	Yasufuku, I., Ohashi, M., Eto, K., et al.	胃外科	Size-dependent differences in the proximal remnant stomach: How much does a small remnant stomach after subtotal gastrectomy work?	Surg. Endosc., 2020 Dec: 34 (12): 5540–5549	Original Article
63	Hayami, M., Watanabe, M., Mine, S., et al.	食道外科	Steam induced by the activation of energy devices under a wet condition may cause thermal injury	Surg. Endosc., 2020 May: 34 (5): 2295–2302	Original Article
64	Tokai, Y., Yoshio, T., Aoyama, K., et al.	上部消化管内科	Application of artificial intelligence using convolutional neural networks in determining the invasion depth of esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus, 2020 Jul: 17 (3): 250–256	Original Article
65	Watanabe, M., Tachimori, Y., Oyama, T., et al.	食道外科	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2013.	Esophagus, 2021 Jan: 18 (1): 1–24	Original Article
66	Ishiyama, M., Behnia, F., Vesselle, H.	画像診断部	Clinical impact of FDG PET/CT of the lower extremities in patients with Merkel cell carcinoma with primary disease site outside of the lower extremities.	Am. J. Roentgenol., 2021 Mar: 216 (3): 776–780	Original Article
67	Ariyasu, R., Yanagitani, N., Tadokoro, K., et al.	呼吸器内科	Efficacy of EGFR tyrosine kinase inhibitors in patients having EGFR-activating mutations with or without <i>BIM</i> polymorphisms.	Cancer Chemother. Pharmacol., 2020 Oct: 86 (4): 517–525	Original Article
68	Noda, H., Kaise, M., Wada, R.,	病院病理部	Characteristics of non-neoplastic epithelium that appears within gastric cancer with and without <i>Helicobacter pylori</i> eradication: A retrospective study.	PLoS One, 2021 Mar (オンライン): 16 (3): e0248333	Original Article
69	Murakami, Y., Magome, T., Matsumoto,	放射線治療チーム	Fully automated dose prediction using generative adversarial networks in prostate cancer patients	PLoS One, 2020 May (オンライン): 15 (5): e0232697	Original Article
70	Shinozaki, E., Makiyama, A., Kagawa, et al.	消化器化学療法科	Treatment sequences of patients with advanced colorectal cancer and use of second-line FOLFIRI with antiangiogenic drugs in Japan: A retrospective observational study using an administrative database.	PLoS One, 2021 Feb (オンライン): 16 (2): e0246160	Original Article
71	Suenaga, M., Cao, S., Zhang, W., et al.	消化器化学療法科	Role of enterocyte-specific gene polymorphisms in response to adjuvant treatment for stage III colorectal cancer.	Pharmacogenet. Genomics, 2021 jan: 31 (1): 10–16	original Article
72	Bellato, V., Konishi, T., Pellino, G., et al.	大腸外科	Screening policies, preventive measures and in-hospital infection of COVID-19 in global surgical practices.	J. Glob. Health, 2020 Dec: 10 (2): 020507	Original Article
73	Sato, Y., Fukuda, N., Wang, X., et al.	総合腫瘍科	Efficacy of nivolumab for head and neck cancer patients with primary sites and histological subtypes excluded from the CheckMate-141 trial.	Cancer Manag. Res., 2020 Jun (オンライン): 12: 4161–4168	Original Article
74	Takahari, D., Shinozaki, E., Wakatsuki, T., et al.	総合腫瘍科	Managing a gastrointestinal oncology practice in Japan during the COVID-19 pandemic: Single institutional experience in The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research.	Int. J. Clin. Oncol., 2021 Feb: 26 (2): 335–34	Original Article
75	Hasegawa, T., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., et al.	呼吸器内科	Phase II study of the combination of S-1 with bevacizumab for patients with previously treated advanced non-squamous non-small-cell lung cancer	Int. J. Clin. Oncol., 2021 Mar: 26 (3): 507–514	Original Article
76	Nakanishi, R., Konishi, T., Nakaya, E., et al.	大腸外科	Predisposing factors and clinical impact of high-output syndrome after sphincter-preserving surgery with covering ileostomy for rectal cancer: A retrospective single-center cohort study	Int. J. Clin. Oncol., 2021 Jan: 26 (1): 118–125	Original Article

77	Takeda, T., Sasaki, T., Fukuda, K., et al.	肝胆臓内科	Risk factors for gemcitabine plus nab-paclitaxel-induced interstitial lung disease in pancreatic cancer patients.	Int. J. Clin. Oncol., 2021 Mar; 26 (3): 543-551	Original Article
78	Nomura, H., Tanaka, Y., Omi, M.,	婦人科	Surgical outcomes of early-stage primary vaginal nonsquamous cell carcinoma.	Int. J. Clin. Oncol., 2020 Jul; 25 (7): 1412-1417	Original Article
79	Kawakatsu, S., Mise, Y., Hiratsuka, M., et al.	肝胆臓外科	Clinical significance of subcentimeter pulmonary nodules in patients undergoing hepatectomy for colorectal liver metastases.	J. Surg. Oncol., 2020 Sep; 122 (3): 523-52	Original Article
80	Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Fuse, Y.,	形成外科	Use of the superficial circumflex iliac artery perforator flap for reconstruction after sarcoma	J. Surg. Oncol., 2021 Mar; 123 (4): 1067- 1080	Original Article
81	Hayakawa, K., Matsumoto, S., Ae, K., et al.	整形外科	Definitive surgery of primary lesion should be prioritized over preoperative chemotherapy to treat high-grade osteosarcoma in patients aged 41-65 years	J. Orthop. Traumatol., 2020 Aug; 21 (1): 13	Original Article
82	Horiuchi, Y., Aoyama, K., Tokai, Y., et al.	上部消化管内科	Convolutional neural network for differentiating gastric cancer from gastritis using magnified endoscopy with narrow band imaging.	Dig. Dis. Sci., 2020 May; 65 (5): 1355- 1363	Original Article
83	Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., et al.	大腸外科	Robotic extralevator abdominoperineal resection with en bloc multivisceral resection and lateral lymph node dissection for rectal cancer.	Tech. Coloproctol., 2020 Oct; 24 (10): 1093-1094	Original Article
84	Fujiwara, M., Hayashi, T., Takeda, H., et al.	泌尿器科	Cisplatin, gemcitabine, and paclitaxel as a salvage second-line therapy for metastatic germ-cell cancer.	Clin. Genitourin. Cancer, 2021 Feb; 19 (1): e6-e11	Original Article
85	Shibayama, T., Low, S. K., Ono, M., et al.	乳腺内科	Clinical significance of gene mutation in ctDNA analysis for hormone receptor-positive metastatic breast cancer.	Breast Cancer Res. Treat., 2020 Apr; 180 (2): 331-341	Original Article
86	Kobayashi, K., Suzuki, K., Hiraide, M., et al.	薬剤部	Association of immune-related adverse events with pembrolizumab efficacy in the treatment of advanced urothelial carcinoma.	Oncology, 2020 Apr; 98 (4): 237-242	Original Article
87	Miyaji, N., Miwa, K., Tokiwa, A., et al.	核医学部	Phantom and clinical evaluation of bone SPECT/CT image reconstruction with xSPECT algorithm.	EJNMMI Res., 2020 Jun; 10 (1): 71	Original Article
88	Sonoda, D., Matsuura, Y., Kondo, Y., et al.	呼吸器外科	Characteristics of surgically resected non-small cell lung cancer patients with post-recurrence cure.	Thorac. Cancer, 2020 Nov; 11 (11): 3280- 3288,	Original Article
89	Uchibori, K., Takano, N., Manabe, R., et al.	呼吸器内科	Clinical influence of switching companion diagnostic tests for EGFR-TKIs from Therascreen to Cobas v2	Thorac. Cancer, 2021 Mar; 12 (6): 906-913	Original Article
90	Ariyasu, R., Uchibori, K., Ninomiya, H., et al.	呼吸器内科	Feasibility of next-generation sequencing test for patients with advanced NSCLC in clinical practice.	Thorac. Cancer, 2021. Feb; 12 (4): 504-511	Original Article
91	Tozuka, T., Kitazono, S., Sakamoto, H., et al.	呼吸器内科	Poor efficacy of anti-programmed cell death-1/ligand 1 monotherapy for non-small cell lung cancer patients with active brain metastases.	Thorac. Cancer, 2020 Sep; 11 (9): 2465- 2472	Original Article
92	Takahashi, Y., Ito, H., Inoue, Y., et al.	肝胆臓外科	Preoperative biliary drainage for patients with perihilar bile duct malignancy	J. Gastrointest. Surg., 2020 Jul; 24 (7): 1630-1638	Original Article
93	Omi, M., Tonooka, A., Chiba, T., et al.	婦人科	Immunohistochemical markers and the clinical course of adenosarcoma: a series of seven cases.	Diagn. Pathol., 2020 Sep; 15 (1): 119	Original Article
94	Urasaki, T., Nakano, K., Tomomatsu, J., et al.	総合腫瘍科	Adult genitourinary sarcoma: The era of optional chemotherapeutic agents for soft tissue sarcoma.	Int. J. Urol., 2021 Jan; 28 (1): 91-97	Original Article
95	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Tanakura, K., et al.	形成外科	An anatomical study of the lymph- collecting vessels of the medial thigh and clinical applications of lymphatic vessels preserving profunda femoris artery perforator (LpPAP) flap using pre- and intraoperative indocyanine green (ICG) lymphography	J. Plast. Reconstr. Aesthet. Surg., 2020 Sep; 73 (9): 1768-1774	Original Article
96	Okamura, A., Watanabe, M., Kitazono, S., et al.	食道外科	The design of and rationale for the effect of perioperative inhaled tiotropium for patients with chronic obstructive pulmonary disease in esophageal cancer surgery (EPITOPE): An open-label, randomized, parallel group study.	Eur. Surg. Res., 2021 Feb; 61 (4-5): 123- 129	Original Article
97	Marshall, S., Nishimura, N., Inoue, N., et al.	血液腫瘍科	Impact of omission/reduction of vincristine from R-CHOP in treatment of DLBCL	Clin. Lymphoma Myeloma Leuk., 2021 Mar; 21 (3): 162-16	Original Article

98	Yamaguchi, K., Shimada, Y., Hironaka, S., et al.	消化器化学療法科	Quality of life associated with ramucirumab treatment in patients with advanced gastric cancer in Japan: Exploratory analysis from the phase III RAINBOW trial.	Clin. Drug Investig., 2021 Jan: 41 (1): 53–64	Original Article
99	Mishima, Y., Mishima, Y., Shirouchi, Y., et al.	血液腫瘍科	The clonal evolution during long-term clinical course of multiple myeloma.	Int. J. Hematol., 2021 Feb: 113 (2): 279–284	Original Article
100	Fukuta, T., Nishimura, N., Shirouchi, Y., et al.	血液腫瘍科	Insignificance of surveillance imaging in patients with diffuse large B-cell lymphoma who achieved first complete remission: a retrospective cohort study.	Int. J. Hematol., 2020 Apr: 111 (4): 567–573	Original Article
101	Takeda, Y., Saiura, A., Inoue, Y., et al.	肝胆膵外科	Early fistulography can predict whether biochemical leakage develops to clinically relevant postoperative pancreatic fistula.	World J. Surg., 2020 Apr: 44 (4): 1252–1259	Original Article
102	Kato, K., Omatsu, K., Okamoto, S., et al.	婦人科	Early oral feeding is safe and useful after rectosigmoid resection with anastomosis during cytoreductive surgery for primary ovarian cancer.	World J. Surg. Oncol., 2021 Mar: 19 (1): 7	Original Article
103	Hata, T., Mise, Y., Ono, Y., et al.	肝胆膵外科	Multidisciplinary treatment for colorectal liver metastases in elderly patients	World J. Surg. Oncol., 2020 Jul: 18 (1): 173	Original Article
104	Otake, R., Okamura, A., Kanamori, J., et al.	食道外科	The optimal feeding enterostomy creation during esophagectomy to reduce the long-term risk of small bowel obstruction.	World J. Surg., 2020 Nov: 44 (11): 3845–3851	Original Article
105	Nishimura, N., Takeuchi, K., Asaka, R., et al.	血液腫瘍科	MYD88 L265P mutation detected by digital PCR as a prognostic factor in patients with diffuse large B-cell lymphoma in rituximab era.	Leuk. Res., 2020 Oct: 97: 106426	Original Article
106	Fukuoka, H., Fukunaga, Y., Nagata, J., et al.	大腸外科	Effects of needlescopic surgery on postoperative pain in intersphincteric or abdominoperineal resection.	Langenbecks Arch. Surg., 2021 Mar: 406 (2): 301–307	Original Article
107	Yagi, S., Nunobe, S., Makuuchi, et al.	胃外科	Oncological outcomes in patients with pT1N0–3 or pT2–3N0 gastric cancer after curative resection without adjuvant chemotherapy	Langenbecks Arch. Surg., 2021 Mar: 406 (2): 419–426	Original Article
108	Takeda, T., Sasaki, T., Mie, T., et al.	肝胆膵内科	The safety and efficacy of self-expandable metallic stent placement for malignant biliary obstruction with surgically altered anatomy.	Scand. J. Gastroenterol., 2021 Jan 56 (1): 94–102.	Original Article
109	Suenaga, M., Mashima, M., Kawata, N., et al.	消化器化学療法科	Serum IL-8 level as a candidate prognostic marker of response to anti-angiogenic therapy for metastatic colorectal cancer	Int. J. Colorectal Dis., 2021 Jan: 36 (1): 131–139	Original Article
110	Murofushi, K., Yoshioka, Y., Sumi, M., et al.	放射線治療部	Outcomes analysis of pre-brachytherapy MRI in patients with locally advanced cervical cancer.	Int. J. Gynecol. Cancer, 2020 Apr: 30 (4): 473–479	Original Article
111	Nakano, K., Ae, K., Matsumoto, S., et al.	総合腫瘍科	The VAC regimen for adult rhabdomyosarcoma: Differences between adolescent/young adult and older patients	Asia Pac. J. Clin. Oncol., 2020 Apr: 16 (2): e47–e52	Original Article
112	Yoshimatsu, H., Hayashi, A., Karakawa, R., et al.	形成外科	Combining the superficial circumflex iliac artery perforator flap with the superficial inferior epigastric artery flap or the deep inferior epigastric artery perforator flap for coverage of large soft tissue defects in the extremities and the trunk.	Microsurgery, 2020 Sep: 40 (6): 649–655	Original Article
113	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Tanakura, K., et al.	形成外科	Triple-lobe combined latissimus dorsi and scapular flap for reconstruction of a large defect after sarcoma resection.	Microsurgery, 2021 Jan: 41 (1): 26–3	Original Article
114	Fukuda, N., Toda, K., Ohmoto, A., et al.	総合腫瘍科	Baseline tumour size as a prognostic factor for radioiodine-refractory differentiated thyroid cancer treated with lenvatinib.	Anticancer Res., 2021 Mar: 41 (3): 1683–1691	Original Article
115	Tanigawa, T., Matoda, M., Omi, M., et al.	婦人科	Continuous administration of bevacizumab after disease progression in recurrent ovarian cancer: A retrospective observational study.	Anticancer Res., 2020 Sep: 40 (9): 5285–5290	Original Article
116	Yasuoka, S., Yuasa, T., Fujiwara, R., et al.	泌尿器科	Efficacy and safety of axitinib therapy after nivolumab for patients with metastatic renal cell cancer	Anticancer Res., 2020 Nov: 40 (11): 6493–6497	Original Article
117	Sonoda, T., Yanagitani, N., Suga, K., et al.	呼吸器内科	A novel system to detect circulating tumor cells using two different size-selective microfilters.	Anticancer Res., 2020 Oct: 40 (10): 5577–558	Original Article
118	Sato, Y., Nakano, K., Fukuda, N., et al.	総合腫瘍科	Pre-treatment neutrophil-to-lymphocyte ratio predicts efficacy of eribulin for soft-tissue sarcoma.	Anticancer Res., 2021 Jan: 41 (1): 527–532	Original Article
119	Yamamoto, S., Kageyama, Y., Fujii, Y., et al.	泌尿器科	Randomized study of postoperative single intravesical instillation with pirarubicin and mitomycin C for low-risk bladder cancer	Anticancer Res., 2020 Sep: 40 (9): 5295–5299	Original Article

120	Suzuki, R., Yoshida, M., Oguchi, M., et al.	放射線治療部	Efficacy of radiation boost after breast-conserving surgery for breast cancer with focally positive, tumor-exposed margin.	J. Radiat. Res., 2020 May61 (3): 440–446	Original Article
121	Nakao, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., et al.	呼吸胃外科	Outcomes after thoracoscopic surgery in octogenarian patients with clinical N0 non-small-cell lung cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol., 2020 Aug: 50 (8): 926–93	Original Article
122	Takahashi, R., Nunobe, S., Osumi, H., et al.	胃外科	Clinical outcomes of radical gastrectomy following trastuzumab-based chemotherapy for stage IV HER2-positive gastric or gastroesophageal junction cancer.	Surg. Today, 2020 Oct: 50 (10): 1240–1248	Original Article
123	Kano, Y., Ohashi, M., Hiki, N., et al.	胃外科	Facilitated completion of 1-year adjuvant S-1 monotherapy for pathological stage II or III gastric cancer by medical oncologists	Surg. Today, 2020 Oct: 50 (10): 1197–1205	Original Article
124	Mukai, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T.,	大腸外科	Laparoscopic multivisceral resection for locally advanced colon cancer: A single-center analysis of short- and long-term outcomes	Surg. Today, 2020 Sep50 (9): 1024–1031	Original Article
125	Takahashi, R., Nunobe, S., Sai, N., et al.	胃外科	Pancreatic atrophy after gastrectomy for gastric cancer.	Surg. Today, 2021 Mar: 51 (3): 432–438	Original Article
126	Tominaga, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., et al.	大腸外科	Prognostic nutritional index and postoperative outcomes in patients with colon cancer after laparoscopic surgery.	Surg. Today, 2020 Dec: 50 (12): 1633–1643	Original Article
127	Sasaki, S., Nagasaki, T., Oba, K., et al.	大腸外科	Risk factors for outlet obstruction after laparoscopic surgery and diverting ileostomy for rectal cancer	Surg. Today, 2021 Mar51 (3): 366–373	Original Article
128	Ono, Y., Takahashi, Y., Tanaka, M., et al.	肝胆膵外科	Sinistral portal hypertension prediction during pancreatoduodenectomy with splenic vein resection.	J. Surg. Res., 2021 Mar: 259: 509–515	Original Article
129	Fujiwara, R., Numao, N., Ishikawa, Y., et al.	泌尿器科	Incidence and predictors of deep vein thrombosis in patients with elevated serum D-dimer prior to surgery for urologic malignancy.	Urol. Int., 2020 Apr: 104 (1–2): 1–6	Original Article
130	Numao, N., Fujiwara, R., Uehara, S., et al.	泌尿器科	Intraoperative only versus extended duration use of antimicrobial prophylaxis for infectious complications in radical cystectomy with intestinal urinary diversion.	Urol. Int., 2020 Dec: 104 (11–12): 954–959	Original Article
131	Aoyama, T., Tsunoda, T., Kato, H., et al.	薬剤部	Comparison of cisplatin-induced nephrotoxicity when using conventional versus short hydration in gastric cancer: A retrospective study.	J. Chmother., 2020 May: 32 (3): 144–150	Original Article
132	Kanata, R., Sasaki, T., Matsuyama, M., et al.	肝胆膵内科	Prospective study of EUS-guided tissue acquisition with a 20G core biopsy needle with a forward bevel for solid pancreatic mass.	Medicine (Baltimore), 2021 Jan: 100 (2): e24193	Original Article
133	Kobayashi, K., Iikura, Y., Hiraide, M., et al.	薬剤部	Association between immune-related adverse events and clinical outcome following nivolumab treatment in patients with metastatic renal cell carcinoma	In Vivo, 2020 Sep: 34 (5): 2647–2652	Original Article
134	Hasegawa, T., Yanagitani, N., Ninomiya, H., et al.	呼吸器内科	Association between the efficacy of pembrolizumab and low STK11/LKB1 expression in high-PD-L1-expressing non-small-cell lung cancer.	In Vivo, 2020 Sep: 34 (5): 2997–3003	Original Article
135	Sato, Y., Fukuda, N., Fujiwara, Y., et al.	総合腫瘍科	Efficacy of paclitaxel-based chemotherapy after progression on nivolumab for head and neck cancer.	In Vivo, 2021 Mar: 35 (2): 1211–1215	Original Article
136	Fukuda, N., Toda, K., Fujiwara, Y., et al.	総合腫瘍科	Neutrophil-to-lymphocyte ratio as a prognostic marker for anaplastic thyroid cancer treated with lenvatinib.	In Vivo, 2020 Sep: 34 (5): 2859–2864	Original Article
137	Miyaji, N., Miwa, K., Motegi, K., et al.	核医学部	Patient arm position during quantitative bone single-photon emission computed tomography/computed tomography acquisition can affect image quality and quantitative accuracy: A phantom study.	Nucl. Med. Commun., 2021 Mar: 42 (3): 267–275	Original Article
138	Kokubu, Y., Yamada, K., Tanabe, M., et al.	超音波検査部	Evaluating the usefulness of breast strain elastography for intraductal lesions.	J. Med. Ultrason., 2021 Jan: 48 (1): 63–70	Original Article
139	Tanaka, Y., Shimizu, Y., Ikki, A., et al.	婦人科	Laparoscopic ureteral reconstruction in gynaecological recurrent cancer surgeries: an initial case series study.	Eur. J. Gynaecol. Oncol., 2020 Dec: 41 (6): 975–981	Original Article
140	Ikarashi, D., Kitano, S., Ishida, K., et al.	がん免疫治療開発部	Complete pathological response to neoadjuvant pembrolizumab in a patient with chemoresistant upper urinary tract urothelial carcinoma: A case report.	Front. Oncol., 2020 Sep: 10: 564714	Case Report
141	Fukuda, K., Sasaki, T., Sasahira, N.	肝胆膵内科	Portal vein guidewire insertion: Rare complication of wire-guided cannulation during single-balloon enteroscopy-assisted endoscopic retrograde cholangiopancreatography.	Dig. Endosc., 2021 Jan: 33 (1): e3–34	Case Report

142	Sasaki, T., Takeda, T., Sasahira, N.	肝胆膵内科	Double stenting with EUS-CDS using a new anti-reflux metal stent for combined malignant biliary and duodenal obstruction	J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2020 Nov: 27 (11): e15-e1	Case Report
143	Sasaki, T., Mie, T., Takeda, T., et al.	肝胆膵内科	Percutaneous insertion of a jejunal tube via the collapsed blind end of elevated jejunum by a balloon puncturing method assisted by a balloon enteroscope.	J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2020 Sep: 27 (9): 663-664	Case Report
144	Takahashi, K., Okamura, A., Amada, E.,	食道外科	Esophagectomy for esophageal cancer in a patient with left pulmonary artery sling.	Ann. Surg. Oncol., 2020 May: 27 (5): 1530,	Case Report
145	Emoto, S., Akiyoshi, T., Fukata, K.,	大腸外科	Laparoscopic transabdominal dissection and transection of the distal rectum followed by local excision through the anus for rectal gastrointestinal stromal tumor.	Dis. Colon Rectum, 2020 Nov: 63 (11): e542	Case Report
146	Matsuura, Y., Ninomiya, H., Ichinose, J., et al.	呼吸器外科	Pathogenesis of secondary spontaneous pneumothorax complicating osteosarcoma.	Ann. Thorac. Surg., 2020 Aug: 110 (2): e81-e83	Case Report
147	Kanao, H., Aoki, Y., Fusegi, A., et al.	婦人科	Should indications for laterally extended endopelvic resection (LEER) exclude patients with sciatica?	J. Gynecol. Oncol., 2020 Sep: 31 (5): e63	Case Report
148	Kanao, H., Omi, M., Takeshima, N.	婦人科	Laparoscopic mesh repair for perineal hernia after en bloc resection of an aggressive angiofibroma using a modified sacral-colpopexy technique.	J. Minim. Invasive Gynecol., 2020 Sep: 27 (6): 1258-1259	Case Report
149	Kanao, H., Kanno, M., Takeshima, N.	婦人科	Laparoscopic ureteral reimplantation for the management of long-segment ureteral defect in gynecologic surgeries.	J. Minim. Invasive Gynecol., 2020 Nov: 27 (7): 1476-1477	Case Report
150	Harada, S., Aoki, K., Ohkushi, D., et al.	感染症科	Institutional outbreak involving multiple clades of IMP-producing <i>Enterobacter cloacae</i> complex sequence type 78 at a cancer center in Tokyo, Japan.	BMC Infect. Dis., 2021 Mar: 21 (1): 289	Case Report
151	Kadoya, Y., Oikado, K., Ishiyama, M., et al.	画像診断部	Focally ossified minimally invasive adenocarcinoma of the lung coexisting with occult pulmonary metastases from thyroid cancer.	J. Thorac. Imaging, 2020 Nov: 35 (6): W119-W122	Case Report
152	Tsugeno, Y., Kawachi, H., Kirimura, S., et al.	病院病理部	Adenocarcinoma arising in the multiple heterotopic submucosal glands of the intestine in a Satoyoshi syndrome patient: A case report.	Pathol. Int., 2021 Feb: 71 (2): 147-154	Case Report
153	Shigematsu, Y., Yamashita, K., Takamatsu,	病院病理部	Primary intramucosal synovial sarcoma of the sigmoid colon in a patient with a germline mutation in the MSH2 gene: A case report.	Pathol. Int., 2020 Dec: 70 (12): 1015-1019	Case Report
154	Maeshima, Y., Osaka, T., Morizono, H., et al.	乳腺外科	Metastatic ovarian cancer spreading into mammary ducts mimicking an in situ component of primary breast cancer: a case report.	J. Med. Case Rep., 2021 Jan: 15 (1): 78	Case Report
155	Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., et al.	呼吸器外科	Bilateral lung cancer resection with preservation of an accessory cardiac lobe.	BMJ Case Rep., 2020 Nov: 13 (11): e239604	Case Report
156	Hosonaga, M., Saya, H., Arima, Y.	乳腺内科	Molecular and cellular mechanisms underlying brain metastasis of breast cancer.	Cancer Metastasis Rev., 2020 Sep: 39 (3): 711-720	Review
157	Nakayama, I., Hirota, T., Shinozaki, E.	消化器化学療法科	<i>BRAF</i> Mutation in Colorectal Cancers: From Prognostic Marker to Targetable Mutation.	Cancers (Basel), 2020 Nov: 12 (11): 3236	Review
158	Osumi, H., Shinozaki, E., Yamaguchi, K.	消化器化学療法科	Circulating tumor DNA as a novel biomarker optimizing chemotherapy for colorectal cancer.	Cancers (Basel), 2020 Jun: 12 (6): 1566	Review
159	Ohmoto, A., Fuji, S.	総合腫瘍科	Infection profiles of different chemotherapy regimens and the clinical feasibility of antimicrobial prophylaxis in patients with DLBCL	Blood Rev., 2021 Mar: 46: 100738	Review
160	Hirasawa, T., Ikenoyama, Y., Ishioke, M., et al.	上部消化管内科	Current status and future perspective of artificial intelligence applications in endoscopic diagnosis and management of gastric cancer.	Dig. Endosc., 2021 Jan: 33 (2): 263-272	Review
161	Namikawa, K., Hirasawa, T., Yoshio, T., et al.	上部消化管内科	Utilizing artificial intelligence in endoscopy: A clinician's guide.	Expert Rev. Gastroenterol. Hepatol., 2020 Aug: 14 (8): 689-706	Review
162	Ohmoto, A., Morizane, C.	総合腫瘍科	Genomic profiles and current therapeutic agents in neuroendocrine neoplasms.	Curr. Drug Targets, 2020 Apr: 21 (4): 389-405	Review
163	Oba, A., Bao, Q. R., Barnett, C. C., et al.	肝胆膵外科	Vascular resections for pancreatic ductal adenocarcinoma: Vascular resections for PDAC.	Scand. J. Surg., 2020 May: 152 (1): 18-28	Review
164	Aoki, Y., Kanao, H., Wang, X., et al.	婦人科	Adjuvant treatment of endometrial cancer today.	Jpn. J. Clin. Oncol., 2020 Jul: 50 (7): 753-765	Review
165	Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., et al.	呼吸器外科	Recent fluorescence imaging technology applications of indocyanine green in general thoracic surgery.	Surg. Today, 2020 Nov: 150 (11): 1332-1342	Review

166	Fujiwara, Y., Sato, Y., Wang, X.	総合腫瘍科	Screening for COVID-19 in symptomatic cancer patients in a cancer hospital.	Cancer Cell, 2020 Nov: 38 (5): 609-610	Letter
167	Ozaki, Y., Masuda, J., Kataoka, A., et al.	乳腺内科	Utility of preoperative computed tomography scans for coronavirus disease in a cancer treatment center	Cancer Cell, 2021 Jan: 39 (1): 9-10	Letter
168	Sato, Y., Fujiwara, Y., Fukuda, N., et al.	総合腫瘍科	Changes in treatment behavior during the COVID-19 pandemic among patients at a cancer hospital	Cancer Cell, 2021 Jan: 39 (2): 130-1	Letter
169	Bellato, V., Konishi, T., Pellino, G., An, Y., Bellato, V., Konishi, T., et al.(An and Konishi co-	大腸外科 (Bellat and Konishi co-first author)	Impact of asymptomatic COVID-19 patients in global surgical practice during the COVID-19 pandemic.	Br. J. Surg., 2020 Sep:107 (10): e364-e365	Letter
170	An, Y., Bellato, V., Konishi, T., et al.(An and Konishi co-	大腸外科	Surgeons' fear of getting infected by COVID19: A global survey.	Br. J. Surg., 2020 Oct:107 (11): e543-e544,	Letter
171	Takahashi, K., Okamura, A., Watanabe, M.	食道外科	ASO author reflections: Cervicothoracoscopic esophagectomy for esophageal cancer.	Ann. Surg. Oncol., 2020 May: 27 (5): 1531-1532	Letter
172	Nakanishi, R., Akiyoshi, T.	大腸外科	ASO author reflections: CT-based radiomics model to predict lateral lymph node metastasis after neoadjuvant (chemo)radiotherapy in advanced low rectal cancer.	Ann. Surg. Oncol., 2020 Oct: 27 (11): 4284-4285	Letter
173	Suzuki, T., Okamura, A., Watanabe, M., et al.	消化器化学療法科	ASO author reflections: How should we approach borderline resectable esophageal squamous cell carcinoma?	Ann. Surg. Oncol., 2020 May: 27 (5): 1518-1519	Letter
174	Okamura, A., Matsuda, S., Kawakubo, H.,	食道外科	ASO Author reflections: Prediction of the therapeutic efficacy in patients with neoadjuvant chemotherapy for esophageal squamous cell carcinoma.	Ann. Surg. Oncol., 2020 Dec: 27 (Suppl.3): 795-79	Letter
175	Okamura, A., Watanabe, M., Mitani, H.	食道外科	ASO author reflections: What is the optimal method of digestive reconstruction following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy?	Ann. Surg. Oncol., 2020 Dec: 27 (Suppl.3): 824-825	Letter
176	Kanao, H., Chang, E. J., Matsuzaki, S., et al.	婦人科	Survival effect of intra-operative tumor spillage during minimally invasive hysterectomy for early-stage endometrial cancer: a call for research.	Int. J. Gynecol. Cancer, 2021 Feb: 31 (2): 308-309	Letter
177	Kanao, H., Kurita, T., Tanaka, Y., et al.	婦人科	Differences between laparoscopic super-radical hysterectomy and laterally extended endopelvic resection.	Gynecol. Oncol. Rep., 2021 Feb (オンライン): 0236: 100728	Others
178	Watanabe, M.	食道外科	Salvage esophagectomy for residual tumor after definitive chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma invading the neighboring organs: Is it a feasible choice?	Ann. Surg. Oncol., 2020 Sep: 27 (9): 3107-3108	Others
179	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment on: prognostic implication of body mass index on survival outcomes in surgically-treated non-metastatic renal cell carcinoma: A single institutional, retrospective analysis of a large cohort	Ann. Surg. Oncol., 2020 Jul: 27 (7): 2137-2138	Othes
180	Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.	肝胆膵外科	Commentary: Complex venous resection and reconstruction for locally advanced pancreatic cancer: Our approach.	Surgery, 2020 Dec: 168 (6): 1056-1057	Others
181	Nakao, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., et al.	呼吸器外科	Different perspectives and viewpoints on the postoperative management of EGFR-mutant lung cancer	Ann. Transl. Med., 2020 Sep: 8 (18): 1201	Others
182	Yuasa, T.	泌尿器科	A novel classification for local recurrence after surgical removal of renal cell cancer.	Ann. Transl. Med., 2020 Aug: 8 (15): 970	Others
183	Takano, T.	乳腺内科	The era of meta-analyses-based recommendations: how were the Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for systemic treatment of breast cancer established?	Breast Cancer, 2020 May: 27 (3): 332-333	Others
184	Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K., et al.	消化器化学療法科	Upcoming first-line chemotherapy for HER2-negative gastric cancer in Japan: Which patients benefit from immunotherapy?	Future Oncol., 2020 Aug: 16 (24): 1797-1799	Others
185	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment to presence of constipation predicts the therapeutic efficacy of pembrolizumab in metastatic urothelial cancer patients.	Int. J. Urol., 2020.1227 (12): 1123	Others
186	Fukuoka, M., Ueno, T., Yoshida, K., et al.	乳腺外科	Breast castleman disease.	Breast J., 2020 Sep: 26 (9): 1855-1856	Others
187	Konishi, T.	大腸外科	Why do we need to know the differences between the East and West?	Clin. Colon Rectal Surg., 2020 Nov: 33 (6): 327-328	Others

- (注)
- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
- 5 (出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
- 記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注)
- 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 1. 総則(適用範囲、用語、秘密の保全、モニタリング・監査及び厚生労働大臣が実施する調査への協力、本手順書の保管及び配付) 2. 倫理審査委員会の業務(設置者の責務、役割・責任、設置及び構成、審査、委員長及び副委員長の責務) 3. 他の研究機関の研究審査等の取り扱い 4. 倫理審査委員会事務局の業務 5. 記録の保存(保存期間、保存場所、廃棄)	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
- 2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反マネジメントポリシー 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反の管理に関する規約 利益相反委員会規程	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 2回

(注)前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2回
-----------------------	------

・研修の主な内容

○研究者倫理に関する講習会 ～2020年7月開催

○ICRweb(e-ラーニング) ～2020年4月～6月に受講

(注)前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各コース、プログラムに従い研修を進める。各コースプログラムのローテーションでは、選択したコースプログラムに関連する診療科部門を3ヶ月から最大12ヶ月の期間で研修を行う。研修にあたっては、各コースとも、教育責任者1名と指導医を複数名配置し、指導は学会専門医などの資格を有する者が中心となり、チーム全体での指導が受けられる体制をとっている。

また、各カンファレンスにも参加し、特にカンサーボードでの検討に基づく集学的医療を実践する。加えて基礎的ながん研究を行うがん研究所も併設しており、専門の研究者との交流も行い知識を深めてもらう。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	138人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
西尾 誠人	呼吸器内科	呼吸器センター長	32年	
藤崎 順子	消化器内科	部長	38年	
高野 利実	乳腺内科	部長	23年	
文 敏景	呼吸器外科	部長	24年	
渡邊 雅之	消化器外科	部長	31年	
大野 真司	乳腺外科	乳腺センター長	37年	
金尾 祐之	婦人科	部長	24年	
三谷 浩樹	頭頸科	部長	33年	
阿江 啓介	整形外科	部長	28年	
米瀬 淳二	泌尿器科	部長	35年	
丸山 大	血液腫瘍科	部長	22年	
高橋 俊二	総合腫瘍科	部長	38年	
中山 耕之介	皮膚科	部長	31年	
清水 研	腫瘍精神科	部長	23年	
寺嶋 克幸	麻酔科 救急部 集中治療部	部長	28年	
矢野 智之	形成外科	部長	21年	
辻 英貴	眼科	部長	29年	
川原 玲子	緩和治療科	部長	40年	
吉岡 靖生	放射線治療部	部長	26年	
寺内 隆司	画像診断センター	画像診断センター長	35年	
河内 洋	病理部	部長	24年	
富塚 健	歯科	部長	35年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況(任意)

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

② 業務の管理に関する研修の実施状況(任意)

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

■研修登録医制度

(対象:医師)

研修内容:他の医療機関に所属する医師を対象に、研修登録医という名称で希望する診療科に受入れ、研修を行っている。

研修期間:研修者の希望に合わせて1日から1年間と幅広く設定し、希望に応じて延長も可能としている。

参加人数:27名

■がん医療従事者研修会

(対象:医師・薬剤師・看護師・診療放射線技師)

・研修の期間・実施回数・参加人数

2020年9月13日 1回(30名) がん診療等に携わる医師等に対する緩和ケア研修会(30名)

2020年11月6日 1回(36名) 看護師研修会 web

2020年11月28日 1回(31名) 東京都緩和ケア研修会(多職種) web

2021年2月8日～28日	1回（262名）	薬剤師研修会	オンデマンド型
2021年2月8日～28日	1回（289名）	診療放射線技師研修会	オンデマンド型
2021年2月27日	1回（142名）	放射線腫瘍医研修会	
2021年3月6日	1回（31名）	緩和ケアチームフォローアップ研修会	web
2021年3月13日	1回（252名）	がんの薬物療法研修会	web

（注）1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
管理責任者氏名	佐野 武		
管理担当者氏名	各管理責任部署の長		

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	院長室
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	手術室
		看護記録	IT推進課
		検査所見記録	IT推進課
		エックス線写真	IT推進課
		紹介状	IT推進課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	IT推進課
		従業者数を明らかにする帳簿	人事部
		高度の医療の提供の実績	臨床研究・開発センター事務室
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課及び高難度新規医療技術管理部
		高度の医療の研修の実績	人事部
		閲覧実績	各管理責任部署
	規則第一	紹介患者に対する医療提供の実績	医事部及びIT推進課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事部及び薬剤部
	規則第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部

		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	…医療安全管理委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び、共有ファイルにデータ保管。 …医療安全職員研修会の開催記録をファイル保管。 …各現場からのIAレポート報告及びその改善のための医療安全管理委員会等での検討内容をファイル保管。
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策部	…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策部	…院内感染対策委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策部	…院内感染対策研修会の開催記録をファイル保管。 …各現場からのレポート報告及びその改善のための委員会等での検討内容をファイル保管
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策部	…医療安全管理責任者を配置。
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	…医薬品の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	…薬剤部にてファイル保管。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	…医薬品情報管理室にて医薬品情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置	MEセンター	

	状況		…医療機器安全管理責任者を配置。
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター	…医療機器の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	購買課	…自主点検及びメーカー等による保守点検記録等をファイル保管。
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	購買課	…購買課にて医療機器情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課 …医療安全管理責任者を配置し、組織図で明示。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療クオリティマネジメントセンター …院内感染対策の専任者を配置。
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部 …薬剤部にてファイル保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療情報管理室 …インフォームドコンセント委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室 …診療情報管理委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		医療安全管理部門の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター …医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理部、院内感染対策部、クオリティインプループメント部、医療クオリティマネジメント部を統括している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに高難度新規医療技術管理部を設置。
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセン

		決定する部門の状況		ターに未承認新規医薬品等管理部を設置。
		監査委員会の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター	…平成28年8月10日付で監査委員会を設置し、平成28年度は委員会を2回開催。
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	…患者相談室でファイル保管。
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査コンプライアンス室	…監査コンプライアンス室でファイル保管。
		職員研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
		管理者が有する権限に関する状況	総務部	…総務部でファイルにて保管。
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室	…監査室でファイルにて保管。
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部	…総務部でファイルにて保管。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	佐野 武		
閲覧担当者氏名	総務部 山崎周士		
閲覧の求めに応じる場所	総務課、患者相談窓口、相談室等		
閲覧の手続の概要			
総務課、患者相談窓口にて閲覧申請の初期対応を実施。申請内容により各記録の担当者へ連絡、閲覧の承認を得た後、申請者へ連絡・閲覧を実施する。			

(注)既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯 科 医 師	延	0	件
	国	延	0	件
	地 方 公 共 団 体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11 第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容: 第1 医療安全管理に関する基本的考え方 第2 医療安全管理委員会・組織に関する基本事項 第3 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 第4 アクシデント報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 第5 重大事故発生時の対応に関する基本方針 第6 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 第7 患者からの相談への対応に関する基本方針 第8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無(有・無) ・ 開催状況:年 12回 ・ 活動の主な内容: 1)医療安全管理のための指針の策定および改訂ならびに職員への周知 2)医療安全に係る問題の調査および分析 3)前号の結果を活用し、改善のための方策の企画立案および実施 4)前号の改善のための方策の職員への周知 5)改善のための方策の実施状況の調査および必要に応じて当該方策の見直し 6)入院患者死亡報告および重大事故報告の状況確認および病院長への確認結果の報告 7)前号の実施状況が不十分な場合の職員への研修および指導 8)その他、医療に係る安全管理のための業務	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
・ 研修の内容(すべて): 1)全体研修会:1999年12月28日 私達は忘れないこの日を 2020年6月 e-learning 2)医療安全研修会:免疫抑制・化学療法により発症するHBV再活性化予防 2020年11月17日 3)全体研修会:患者安全の全体像 2020年12月 e-learning	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: 1)当事者または発見者がIAレポートシステムを用いてIA報告を行う。 2)各部署にてRMを中心として必要時にRCA分析などにより事例の検討を行う。 3)RM部会でIA報告の事例共有、改善の検討または依頼を行う。必要時には医療安全管理委員会へ上申する。 4)各部署またはRM部会にて立案した改善案をもとに、医療安全管理委員会で改善策を検討、決定する。 5)病院管理者連絡会議や部署RM連絡会などで事例と改善策を周知する。 6)改善策の実施後、モニタリングなどで改善策の効果の評価を行う。	

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容: 1) 院内感染対策に関する基本的考え方 2) 院内感染対策のための委員会等病院感染対策の組織に関する基本的事項 3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 4) 感染症の発生状況に関する基本方針 5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7) その他院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容: 1) 院内感染対策マニュアルの作成および最新の科学的・公衆衛生学的情報を踏まえた定期的な改訂 2) 院内感染対策の実施状況の報告と改善策の立案 3) 院内の感染症発生状況のサーベイランス結果の報告と結果を踏まえた改善策の立案 4) アウトブレイクあるいは重要感染症発生時(疑い時を含む)の状況・対応報告と改善策の立案 5) 院内感染に関する情報収集・共有および内外への情報発信の検討 6) 職業感染予防策の実施状況の報告と改善策の立案 7) 抗菌薬使用状況・多剤耐性菌等のサーベイランス情報の共有と改善策の立案 8) その他、院内感染対策及びその防止にかかわるすべての事項	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年40回
・ 研修の内容(すべて): 新入職員研修:「感染管理、感染症診療について」(1回) 看護部新規看護師採用者オリエンテーション:「感染予防・対策、標準予防策 他」(5回) 復職者、中途採用者(新採用者)オリエンテーション:「感染管理・感染症診療について」(12回) 病院全体研修:「新型コロナ時代の医療機関における感染対策」(1回) 「感染対策と抗菌薬適正使用に必要な微生物検査の知識」(1回) 委託清掃スタッフ研修:「感染経路と感染対策」(3回)「個人防護具の着脱方法」(3回) 委託リネンスタッフ研修:「感染経路と感染対策」(2回) 委託警備スタッフ・設備整備スタッフ研修:「感染経路と感染対策」(4回) 委託中材スタッフ研修:「感染経路と感染対策」(2回) 委託物品管理スタッフ研修:「感染経路と感染対策」(3回) リンクナース研修:「個人防護具の着脱方法」「末梢静脈カテーテル関連血流感染症」(2回) 感染症勉強会:「化学療法部オリエンテーション 感染症の管理」(1回)	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: 1) 感染対策および感染症診療に関するコンサルテーション体制の整備 2) 院内ラウンドを行い、感染対策に関する問題点の把握・分析、対策の立案、実施・評価 3) 感染症発生状況および感染対策に関する情報提供(感染情報レポート・ICTニュースを作成し、院内ネットワーク掲示板に掲載) 4) 院内感染対策マニュアルの整備 5) 職業感染予防策の実施(ウイルス抗体価測定、ワクチン接種、針刺し・粘膜曝露対応) 6) 手指衛生の指導と実施状況のモニタリング 7) 院内感染対策実施のための院内の各部門・部署との連携	

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☒ ・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 65 回
・研修の主な内容: (1) 医薬品安全管理研修会(WEB開催) ・持参薬の管理と過去の事例から学ぶ医療安全:2020年7月6～26日(248名受講) ・持参麻薬処方時に活用する緩和医療支援ツール ～麻薬に関連した インシデント、アクシデント事例の紹介～ 2021年3月19～31日(446名受講) (2) 新入職者を対象とする入職時研修(WEB開催) ・医薬品安全研修:2020年4月1日～4月8日(対象者66名中66名参加) (3) 中途採用者・復職者を対象とする入職時研修(WEB開催) ・医薬品安全研修:2020年4月1日～4月8日(対象者102名中102名参加) (4) 病棟看護師への医薬品安全使用のための研修会 ・薬袋表記の変更について 2020年5月8日～5月20日(215名受講)16回 ・適切な薬剤投与のために 2020年6月19日～8月20日(135名受講)22回 ・医療麻薬の適性使用について 2020年6月19日～11月27日(135名受講)23回	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	・手順書の作成 (☒・無) ・手順書の内訳に基づく業務の主な内容: (1) 手順書の定期的な見直し及び改訂 ・医薬品安全使用のための業務手順書の定期的な見直しを年に1回実施している。 随時改訂が必要な際は医療安全管理委員会の承認を得て改訂する(最終改訂 2021 年 3 月 16 日) (2) 手順書に基づく業務の実施 ・医薬品安全管理担当者(薬剤管理室室長)は、病棟薬剤師、外来部門等担当薬剤師と協働し「病棟等における医薬品管理チェック報告書」を作成し、状況を確認する。病棟担当の薬剤師は週に1回、外来部門等の担当薬剤師は毎月1回報告書を作成し、医薬品安全管理責任者へ報告する。 ・医薬品安全管理責任者は状況に応じて必要な対策を講じる指示を出している。 ・医薬品安全管理担当者は病棟担当薬剤師と連絡会議を開催し、医薬品の安全使用を目的とした医薬品に係る情報共有し、レベルに応じた情報提供を実施している。 ・医薬品安全管理担当者は「病棟等における医薬品管理チェックについての報告書」のサマリーを薬剤部

内全体へ周知している。

- ・医薬品安全管理責任者は、医療安全管理委員会に報告し、必要に応じて病院運営会議、診療部長会議等で報告周知している。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・医薬品に係る情報の収集の整備 (☒有・無)

- ・未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば):

* 未承認薬 :0件

* 適応外使用:①抗がん薬(術後補助化学療法等):58件
カペシタビン(26)、S-1(32)

②希少がん等:21レジメン、 30件

CPT-11(1)、レトロゾール(1)、CBDCA/PAC(2)、CDDP/VP16(4)、ロンサーフ(1)
ペンブロリズマブ(1)、CCRT(CDDP)(1)、S-1(5)、VCR/CPA(RT併用)(1)、
FOLFOX(1)、IFM/VP16(1)、GEM/nab-PTX(1)、スニチニブ(1)、ニボルマブ(1)
タモキシフェン(1)、GEM/S-1(1)、CBDCA/VP16(1)、CBDCA/GEM(1)、DTX(2)、
乾燥BCG(1)、CBDCA/CPT-11(1)

③irAE等の副作用対策(支持療法):20件

デキサメタゾンエリキシル(11)、フィブリノゲン(6)、シクロスポリン(3)

④その他(一般薬等):14薬剤 98件

ウロキナーゼ(3)、オクトレオチド(28)、エチレフリン(2)、アダパレン(52)
ヘパリンCa皮下(1)、ミノサイクリン(4)、トルバプタン(1)、50%糖液(1)、
ブプレノルフィンテープ(1)、トラネキサム酸(1)、クラリスロマイシン(1)
アピキサバン(1)、レベチラセタム注(1)、エドキサバン(1)、

* 禁 忌:併用禁忌:1件
ノルアドレナリン+ドブタミン

- ・その他の改善のための方策の主な内容:

- * PMDAやメディナビ、SAFE-DIIに登録し採用医薬品(非採用医薬品含む)の情報収集
- * 学会誌や業界誌(日刊薬業、メディファックス等)の定期購読による情報収集
- * 採用医薬品の販売メーカー担当MRとのWEB面談での情報収集
- * 近隣連携施設(病院、保険薬局含む)との定期面談による情報収集
- * 医薬品情報担当薬剤師と臨床担当薬剤師等からの副作用発生等の情報共有・把握

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 55回
・ 研修の主な内容: ・人工呼吸器の取り扱いについて ・血液浄化装置について ・除細動器について ・輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いについて ・リニアックについて ・診療用放射線照射装置について ・新規導入機器の取扱いについて	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (☒有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容: ・委託業者による定期点検及び当院臨床工学技士による自主点検 ・人工呼吸器 ・血液浄化装置 ・除細動器 ・診療用高エネルギー放射線発生装置 ・診療用放射線照射装置 ・医用X線CT装置	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば):前年度実績なし ・ その他の改善のための方策の主な内容: ・安全情報については、行政・PMDAからの情報を確認し、また製造販売業者からの通知、新聞記事などから情報収集し、当院該当機器については医療機器安全管理委員会で検討し、各部署へ周知する。また、電子カルテ上に医療機器安全管理の掲示板を設置し、随時、情報を職員に提供している。 ・院内で起きたIA事例についてはイントラネットを活用し、医療安全通信に掲載して全体へ情報発信し、注意喚起を行っている。 ・不具合が生じた医療機器に関しては、ただちにPMDAへ報告をし、改善を求める。	

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・責任者の資格(医師・歯科医師) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者は、医療安全管理委員会の委員長を務めており、委員会の運営の中で、委員会委員として参加している医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者に活動状況を報告させている。また、医療クオリティマネジメントセンター長として、医療安全管理部ならびに院内感染対策部を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(7名)・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 (1) 医薬品情報管理室には専従薬剤師2名を配置し、情報の収集・整理・周知及び周知状況の確認を行っている。 (2) 情報の収集と整理 * PMDA やメディナビ、SAFE-DI に登録し採用医薬品(非採用医薬品含む)の情報収集 * 学会誌や業界誌(日刊薬業、メディファックス等)の定期購読による情報収集 * 採用医薬品の販売メーカー担当 MR との WEB 面談での情報収集 * 近隣連携施設(病院、保険薬局含む)との定期面談による情報収集 * 医薬品情報担当者は臨床担当薬剤師等からの副作用発生等の情報把握・共有及び報告を実施 (3) 情報の周知と確認 ・院内における情報の周知と確認 情報のレベル分類を大内、レベルに応じた情報発信と確認を実施している レベル A(緊急安全性情報、安全性速報、リコール情報等) →処方患者、処方医を特定し個別に処方医に直接情報提供を行い、「情報提供の記録」を作成し、保管する(レベル C での対応に加えて)。 →必要に応じて対策を当該委員会で検討する。 レベル B(医薬品安全性情報、適応症・用法用量の追加、禁忌事項等) →診療科(汎用する医師)に対し、病棟担当薬剤師からカンファレンスや Cancer Board 等で直接伝達し、周知した情報(内容)、カンファレンス等出席者を記録する(レベル C の対応に加えて)。 レベル C(薬事審議委員会報告、包装変更等) →DI-News として院内配布および院内イントラネット(掲載)による情報周知	

・薬剤部内における情報の周知と確認

Dr.JOY による情報の伝達と「既読」の有無による周知の確認(一般事項)

Desknets の閲覧機能による情報の伝達と「既読」の有無による周知の確認(機密事項)

薬剤部内掲示による情報の伝達と「確認済」のチェック

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

(1)未承認薬

・治験/臨床研究 → IRB(臨床研究等倫理審査委員会)で審議、承認

・試薬等を用いる特殊院内製剤 → 薬事審議委員会で審議。また、未承認新規医薬品等評価委員会で承認

・患者の持込み等(例:入院時の薬剤師による持参薬確認等で把握)

→ 使用に際しては未承認

新規医薬品等評価委会で審議、承認

(2)適応外使用

・希少がん等に対する治療 → レジメン審査委員会(化学療法部運営委員会内)での審議、承認。
未承認新規医薬品等評価委員会で承認。

・公知申請 → 医事課/薬剤部医薬品情報管理室で把握、未承認新規医薬品等評価委員会に報告。

・その他 → 薬剤師による処方監査時や病棟カンファ等で把握した情報(内容)を医薬品情報管理室へ報告。未承認新規医薬品等評価委員会でも把握。

(3)禁忌(疾患禁忌、併用禁忌等)

・併用禁忌(相互作用)→ オーダーリングシステムの一次チェックで把握。

・疾患禁忌 → 薬剤師による処方監査時や病棟カンファで把握。

(4)未承認新規医薬品等管理部に部門長をおき、以下の業務を実施

・未承認新規医薬品等の使用状況の把握(月 1 回)

・病院 QMC 運営委員会での病院長への定期報告(月 1 回)

・未承認等の医薬品使用の記録の保管

・担当者の指名の有無(☒有・無)

・担当者の所属・職種:(所属:薬剤部, 職種:薬剤師(薬剤管理室長))

* 各病棟等担当者を医薬品安全管理担当補助者に指名し、担当者と連携を取る体制としている。

・担当者の指名の有無(☒ 有・無) ・担当者の所属・職種: (所属:薬剤部 , 職種:医薬品管理室長) また、その他に各病棟業務担当者を医薬品安全管理担当補助者に指名し、担当者と連携を取る体制として いる。	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規 程の作成の有無 (☒ 有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容:患 者への医療の説明時に用いる文書については、規程に基づき設置された IC 委員会で審査及び修正され、 委員会承認を得た文書のみ説明文書として電子カルテに格納される。同席者および説明項目等、説明文書 に用いる項目については、IC 委員会で定める標準的な型文書で定めている。 説明の是非等の確認は、診療情報管理委員会にて行う診療情報監査項目に含められており IC 委員会によ る監査を代行している、監査結果は診療科部長に連絡し、病院管理者連絡会及び IC 委員会にて結果報告 し、指導を行っている。	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容: 診療録等の管理や記載内容の確認および指導は、診療情報管理委員会が統括し、同委員会と診療情報 管理室および関連する院内各部が連携して実施した。診療情報管理委員会委員長は診療情報管理責任者 が就いている。 診療情報監査は、委員長 1 名と医師委員 3～6 名による主査副査方式による診療録質的監査と、薬剤部 による薬剤管理記録監査、栄養管理部による栄養管理記録監査、看護部による看護記録監査、診療情報 管理士による診療録等の量的監査から構成される。量的監査は指定した診療科・退院患者 1 ヶ月分の監査 を行った。質的監査は、毎月該当診療科を指定月に退院した患者の中から 3～6 名を量的監査結果より抽 出して実施した。また IC 委員会の代行として、説明同意の内容記録についても監査した。 上記の監査結果は診療情報管理委員会にて審議し、当該診療科部長へ報告し不備については改善を勧 告し、月一回定期開催される病院管理者連絡会議と IC 委員会にも報告した。特に問題のある診療録記載内 容については、再監査を行い診療情報管理委員会委員長が、当該医師・職員に面談し口頭指導することに なっているが、該当する記載はなかった。看護記録監査は看護部による手順により全看護師が参加して行っ	

ている。

具体的な診療録記載に関する監査項目は以下である。

質的監査(医師)

記載原則

記載された順に従って閲覧するだけで患者の全体像が把握できる

診療の都度、遅滞なく速やかに記載されている

適切に SOAP を用いて記載されている

外国語・略語は適切に使用されており、誤字脱字は認められない

事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない

医師・スタッフの私的メモや備忘録など不適切な表現がない

IC の記載

適切なタイミングで IC が実施され、記載されている

病名・病態の説明がされている

治療や検査の目的・必要性の説明がされている

治療や検査の内容の説明がされている

期待される効果の説明がされている

予測される毒性等の説明がされている

病院側の同席者(看護師など)が記載されている

傷病名の記載

正しい病名登録がされている

入院の契機となった主病名・副病名が的確である

入院期間

最低、週1回の部長(部長代行者)回診がおこなわれている

処置・処方指示記載・変更・訂正は正しく行われている

退院サマリ

正確かつ他者から見て理解できる内容である

投薬時の記載

投薬時に正しく診療内容が記載されている

質的監査(薬剤部)

記載原則

患者指導の都度、遅滞なく速やかに記載されている

適切なプロブレムが挙げられている

SOAP 形式で記載されている

“日本語で記載されており外国語・略語は使用していない”

コピー＆ペーストは多用されていない

事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない

誤字・脱字が認められない

私的メモや備忘録は記載されていない

感情的な記載など不適切な表現がない

“薬剤管理指導

算定の記録 薬剤管理指導実施の文言がある

“プロブレムリストを用いている

抗血栓薬がある場合はテンプレートを用いて評価している

“手術患者への記載内容

手術日、術式の記載がある

術前中止薬の有無、薬剤アレルギー、既往歴の記載がある

パスを使用するにあたっての注意すべき疾患の有無

パス説明実施、理解度、薬剤についての評価が記載されている

“がん化学療法患者への記載

経過日、検査値、バイタル、糖尿病、B 型肝炎の抗体・抗原についての記載がある

がん患者指導テンプレートを用いている

Grade 2 以上の有害事象について評価されている

“麻薬加算について

オピオイドの服薬状況について記載がある

NRS、疼痛部位について記載がある

“退院時指導について

退院処方説明実施と理解度の記載がある

術前中止薬の再開の確認がされている

質的監査(栄養管理部)

栄養指導

栄養指導実施の記録(指示内容、実施時間)

栄養サポートチーム

初回栄養スクリーニングシートの作成

カンファレンスの記録(参加者、計画案)

栄養治療実施計画の作成

量的監査(診療情報管理士)

患者情報:主訴・現病歴・既往歴・アレルギーがあれば薬剤・食品名等の記載・感染症

説明と同意:IC テンプレートノート記載の有無、もしくは電子カルテに同意の記載の有無

治療記録:手術関連の同意書等(輸血・麻酔)により同意された旨確認できる

治療記録の記載の有無(手術・治療・処置・検査など)

入院診療計画書:病名、治療計画、看護、リハ等計画の記載の有無

検査結果の確認記載:画像診断(CT・MRI)の結果確認の有無

看護サマリ:退院・転科看護サマリが作成されている

前年度の監査実績:消化器化学療法科・肝胆膵内科・上部消化管内科・下部消化管内科・胃外科・肝胆膵外科・食道外科・大腸外科・呼吸器内科・呼吸器外科・婦人科・泌尿器科・血液腫瘍科・総合腫瘍科・乳腺内科・乳腺外科・整形外科・形成外科・頭頸科・眼科・皮膚腫瘍科・先端医療科・救急部

1年間で入院治療のある全診療科の診療録を監査した。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

☒有・無

・所属職員:専従(4)名、専任()名、兼任(6)名

うち医師:専従(1)名、専任()名、兼任(4)名

うち薬剤師:専従(1)名、専任()名、兼任()名

うち看護師:専従(2)名、専任()名、兼任()名

うち臨床工学技士:専従()名、専任()名、兼任(1)名

うち診療放射線技師:専従()名、専任()名、兼任(1)名

(注)報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容:

1)専従の医師・看護師・薬剤師による医療安全に関する職員の意識の向上や、指導のための教育・研修

の実施。

- 2) 医療事故防止の取り組み。日々のインシデント・アクシデント報告をもとに、情報収集・分析・対策の立案、必要な指導を実施。
- 3) 医療安全管理委員会で検討を行う事例の調査ならびに資料作成。
- 4) 医療安全通信の発行や医療事故情報の配信。
- 5) 院内死亡および重大事例への対応。事実の確認と検証を行い、有害事象調査委員会の資料作成および再発防止策の検討、策定、評価の実施。
- 6) 日本医療機能評価機構、医薬品医療機器総合機構などへの事故等報告書の作成および報告。
- 7) 週1回、院内4カ所の医療安全ラウンドを実施し、職員の医療安全に関する知識や実際の現場状況を確認。
- 8) 部署リスクマネージャー連絡会、リスクマネージャー部会の開催。
- 9) 医療安全研修会の企画立案および実施。
- 10) 新入職員ならびに復職者への研修の実施(中途採用を含む)。
- 11) 医療安全監査委員会の実施。
- 12) 特定機能病院間の相互訪問の実施

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数(4件)、及び許可件数(4件)

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無(☒ 有・無)

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無(☒ 有・無)

・活動の主な内容:

- 1) 高難度新規医療技術評価委員会に対し、高難度新規医療技術の提供の適否、実施の条件等について意見を求め、高難度新規医療技術の提供の適否、実施条件等を決定する。
- 2) 定期的な手術記録、診療録等の記載内容の確認等、高難度新規医療技術の提供に関する従業者の遵守状況を確認すること。
- 3) 病院長への定期的な報告
- 4) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無(☒ 有・無)

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無(☒ 有・無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数(15件)、及び許可件数(14件)

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無(☒ 有・無)

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品

等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無
(☒ 有・無)

・活動の主な内容:

- ①未承認新規医薬品等評価委員会に対し、使用適否、使用条件等について意見を求め、
未承認品新規医薬品等の使用適否、使用条件等を決定する。
- ②定期的な診療科等の記載内容の確認等、その使用についての遵守状況確認
- ③病院長への定期的な報告(医療 QMC 運営委員会等)
- ④未承認新規医薬品等委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無(☒ 有・無)

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無(☒ 有・無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況: 年 425 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況: 年 226 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

オンラインシステムを用いて、担当医が医療安全管理部へ死亡報告書を提出する。医療安全管理部では報告書の記載内容を確認し、さらに情報収集も行いリスト化し、病院長へ毎日報告を行う。医療安全管理委員会では、定例議題として前述の入院患者死亡報告及び重大事象報告を共有しており、医療安全管理部が確認した内容と共に各事例を検討・評価し、医療安全管理委員会委員長(医療安全管理責任者)が検討・評価結果を添えて病院長へ報告する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り(☒ (病院名: 慶應義塾大学病院)・無)

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ(☒ (病院名: 慶應義塾大学病院)・無)

・技術的助言の実施状況

新型コロナウイルス流行の影響で、相互立入りは行わず、オンライン形式で質疑応答および情報交換を実施した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談窓口に、医療安全の内容を含む相談の担当者として、専従の看護師を配置。

案内方法:入院は各病棟(16病棟)の掲示板、外来には5カ所にご案内のパンフレットの掲示、ホームページにも掲載

活動の趣旨:①診療や医療費及び支払いに関する事 ②医療安全に関する事 ③苦情・ご意見・ご提案に関する事

患者より相談が発生した場合の対応方法は、該当部署に出向き内容照会を行うとともに、医療安全管理部へ連絡される。その後、医療安全管理部の職員及び他職種との合同カンファレンスを行い、患者への対応方法を検討している。医療安全に関する相談事例は全て病院長に報告される。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- 1) 全体研修:「1999年12月28日 わたし達は忘れないこの日を」2020年6月8日～6月28日
- 2) 「免疫抑制・化学療法により発症するHBV再活性化予防」2020年11月17日
- 3) 全体研修:「患者安全の全体像」2020年12月21日～2021年1月17日
- 4) 新入職員研修:4月1日、5月1日、6月1日、7月1日、8月3日、9月1日、10月1日、11月2日、12月1日、1月4日、2月1日、3月1日
- 5) 復職者研修:4月1日、5月1日、6月1日、7月1日、8月3日、9月1日、10月1日、11月2日、12月1日、1月4日、2月1日、3月1日

(注)前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

役職・氏名 : 病院長 佐野 武

研修会名 : 公益財団法人日本医療機能評価機構「2020年度特定機能病院管理者研修」

受講日 : 2020年10月15日

【医療安全管理責任者】

役職・氏名 : 副院長 / 乳腺センター長 / 医療クオリティマネジメントセンター長 大野真司

研修会名：公益財団法人日本医療機能評価機構「2020 年度特定機能病院管理者研修」

受講日：2020 年 12 月 24 日

【医薬品安全管理責任者】

役職・氏名：院長補佐 / 薬剤部長 / 未承認新規医薬品等管理部長 山口正和

研修会名：①公益財団法人日本医療機能評価機構「2020 年度特定機能病院管理者研修」

②一般社団法人日本病院薬剤師会「令和 2 年度医薬品安全管理責任者等講習会」

受講日：①2020 年 11 月 11 日

②2020 年 12 月 18 日

【医療機器安全管理責任者】

役職・氏名：頭頸科部長 / ME センター長 三谷浩樹

研修会名：公益財団法人日本医療機能評価機構「2020 年度特定機能病院管理者研修」

受講日：2020 年 12 月 16 日

(注)前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

日本医療機能評価機構主催の病院機能評価受審

受審日：2016 年 11 月 29 日・30 日

受審種別：一般病院2(主たる機能種別)、緩和ケア病院(副機能種別)

認定期間：2017 年 2 月 19 日～2022 年 2 月 18 日

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

「一般病院2」「緩和ケア病院」とともに改善すべき事項に該当する項目がなかったため、改善のために講ずべき措置の公表はなし。

・評価を踏まえ講じた措置

「一般病院2」「緩和ケア病院」とともに改善すべき事項に該当する項目がなかったため、特になし。

(注)記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 1. 当院に求められる使命を遂行するために必要な資質・能力を有している者 当会の使命、価値観、将来展望への理解、その実現にむけたリーダーシップの発揮、継続的かつ確実に病院経営を推進する姿勢と指導力等 2. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 医療安全管理業務の経験や、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等 3. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 当院内外での組織管理経験、高度な医療を担う医療機関の管理運営上必要な資質・能力等 4. 高度先進医療開発のため、臨床研究について十分な知見を有し、関係する法律や倫理指針を遵守し、病院長として臨床研究を実践・指導する能力を有している者 5. 医師免許を有していること ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・無 ） ・ 公表の方法
公益財団法人 がん研究会ホームページ https://www.jfcr.or.jp/press_release/disclosure/index.html

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

[illegible]

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置
及び運営状況

合議体の設置の有無			☒ ・無
・合議体の主要な審議内容 病院運営会議・・・病院の運営に関する重要事項について 経営会議・・・経営に関する基本事項及び重要な個別業務の執行に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 病院管理者連絡会議で、各部門リーダーに伝達 院内グループウェア(デスクネッツ)で周知 デジタルサイネージで周知 ・合議体に係る内部規程の公表の有無(☒・無) ・公表の方法: 閲覧の申し込みがあれば対応 ・外部有識者からの意見聴取の有無(☒・無) 理事会・評議員会で報告し、意見を聴いている。			
合議体の委員名簿(病院運営会議)			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
佐野 武	○	医師	病院長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
大野 真司		医師	副院長/乳腺センター長
小口 正彦		医師	副院長/AI 医療センター長
高橋 俊二		医師	副院長/総合腫瘍科部長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
米瀬 淳二		医師	院長補佐/泌尿器科部長
奥村 栄		医師	院長補佐/中央手術部長
西尾 誠		医師	院長補佐/呼吸器センター長
山口 正和		医師	院長補佐/薬剤部長
高橋 祐		医師	院長補佐/肝胆膵外科部長
高野 利実		医師	院長補佐/乳腺内科部長
志賀 太郎		医師	院長補佐/総合診療部副部長
陳 劉松		医師	院長補佐/外来化学療法部長
山本 晃史		総合職	院長補佐/人事部長/総務部長
関 満朗		総合職	医事部長
合議体の委員名簿(経営会議)			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
浅野 敏雄	○	総合職	理事長
野田 哲生		研究員	常務理事/研究所長
佐野 武		医師	常務理事/病院長

清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
大野 真司		医師	副院長/乳腺センター長
小口 正彦		医師	副院長/AI 医療センター長
高橋 俊二		医師	副院長/総合腫瘍科部長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
馬場 慎也		総合職	チーフコンプライアンスオフィサー
中村 卓郎		研究員	がん研究所副所長
藤田 直也		研究員	がん化学療法センター所長
中村 祐輔		研究員	がんプレシジョン医療研究センター所長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無(☒有・無)
- ・ 公表の方法:閲覧の申し込みがあれば、対応。

- ・ 規程の主な内容

第10条 病院本部長(本部長代行)は、理事長の命を受けて、病院本部の業務を統括する。

2 病院副本部長、病院本部長補佐は、病院本部長を補佐するものとし、病院本部長に事故があるとき、又は病院本部長が欠けたときは、病院副本部長、病院本部長補佐が職務を代行する。

3 病院長(病院長代行)は、病院本部長の命を受けて、病院の業務を掌理し、管理及び運営に必要な人事及び予算執行を行う。

- ・ 管理者をサポートする体制(副院長、院長補佐、企画スタッフ等)及び当該職員の役割

4 副院長は、病院長の職務を円滑に遂行させるため、病院の管理運営等に関する企画立案に関わるとともに、診療、安全、人事、労務、財務、接遇、看護体制、教育、研修、研究等に関する職務等を補佐・分担するものとし、病院長に事故があるとき、又は病院長が欠けたときは、副院長が職務を代行する。

5 病院長補佐は、副院長とともに病院長の職務を補佐する。

6 センター長は、病院長の命を受けて、それぞれのセンターの業務を掌理する。

7 副センター長はセンター長を補佐するものとし、センター長に事故があるとき、又はセンター長が欠けたときは、副センター長が職務を代行する。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

【人事考課(中間評価) 考課者研修(e-ラーニング)】

日時:8月14日(金)～9月30日(水)

対象者:管理監督者全員

講師:人事部長 山本晃史、西田尚美

【経営本部課長研修】

日時:2月9日(火)13:00～16:00 研究所 435号室

対象者:課長職への昇格者 参加者3名、

講師:人事部長 山本晃史

【2020年度人事考課(年度末評価) 考課者研修(e-ラーニング)】

日時:2021年2月15日(月)～3月30日(火)

対象者:管理監督者全員

講師: 人事部長 山本晃史、西田尚美

【在宅勤務実施にあたっての研修(e-ラーニング)】

日時: 2020 年 5 月～ 随時実施

対象者: 全職員 在宅勤務を実施する管理監督者は全員必須

【コンプライアンス全体研修(e-learning)】

受講期間: 2020年10月1日(木)～2020年12月28日(月)

受講対象: がん研究会 全職員

【コンプライアンス特定層研修】

実施期間: 2021 年 3 月 9 日～25 日

対象者: 診療部長、研究本部部長、経営本部部長/課長、看護師長(計 100 名程度)

内容 : コンプライアンスに関する具体的問題やトピックとなる話題等について学習し、
役職に相応しい理解を促すための研修を講義形式で実施した。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況				☒ 有・無	
・監査委員会の開催状況: 年 2 回 ・活動の主な内容: 1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者その他必要と認める者の状況について、管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。 2) 必要に応じ、当院の開設者又は管理者に対し、医療にかかわる安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行う。 3) 上記に掲げる業務について、その結果を公表する。 ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無(☒有・無) ・委員名簿の公表の有無(☒有・無) ・委員の選定理由の公表の有無(☒有・無) ・監査委員会に係る内部規程の公表の有無(☒有・無) ・公表の方法: ホームページにて公表 https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html					
監査委員会の委員名簿及び選定理由(注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学附属さいたま医療センター教授	○	医療安全に関する業務および研究への従事経験を有するため	有・ ☒ 無	1(医師)
大滝 恭弘	帝京大学医療共通研究センター教授		法曹資格を有し、医療安全に関する研究を行っているため	有・ ☒ 無	1(弁護士)
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務めており、医療を受ける者の立場の代表となりえるため	有・ ☒ 無	2(医療を受ける者)
齊藤 彰一	公益財団法人がん研究会有明病院		前職にて医療安全管理業務に従事した経験を有するため	☒ 有・無	1(医師)

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者

2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
 - 監事会による監査(月1回)
 - 理事会への監事の出席
 - 外部監査法人による監査の実施
 - コンプライアンス委員会の結果の経営会議への報告
 - がん研なんでも相談所の設置及び運営
- ・専門部署の設置の有無(☒・無)
- ・内部規程の整備の有無(☒・無)
- ・内部規程の公表の有無(☒・無)
- ・公表の方法
 - 閲覧等の申込みがあれば対応

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 理事会を月1回開催(8月以外)し、主として病院の経営状況等、病院運営に関する重要事項について監査。 ・ 会議体の実施状況(年 10 回) ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数(☒有・無)(年 10 回) ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無(☒有・無) ・ 公表の方法 : 閲覧の申込みがあれば、対応。			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称:理事会			
会議体の委員名簿(理事会)			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
浅野 敏雄	(公財)がん研究会 理事長・経営本部長	○	☒ 有・無
野田 哲生	(公財)がん研究会 常務理事・研究本部本部長・がん研究所 所長		☒ 有・無
佐野 武	(公財)がん研究会 常務理事・病院本部本部長・有明病院病 院長		☒ 有・無
市川 秀夫	昭和電工(株) 取締役 取締役会議長		有・ ☒ 無
伊東 信一郎	ANA ホールディングス(株) 取締役会長		有・ ☒ 無
上田 龍三	愛知医科大学 教授		有・ ☒ 無
内田 幸雄	ENEOS ホールディングス(株) 特別理事		有・ ☒ 無
榮木 実枝	前(公財)がん研究会 有明病院副院長・看護部長		有・ ☒ 無
柿木 厚司	JFE ホールディングス(株) 代表取締役社長		有・ ☒ 無
工藤 泰三	日本郵船(株) 特別顧問		有・ ☒ 無
國土 典宏	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長		有・ ☒ 無
広瀬 道明	東京ガス(株) 取締役会長		有・ ☒ 無
門田 守人	(地独)堺市立病院機構 理事長		有・ ☒ 無
柳井 準	三菱商事(株) 顧問		有・ ☒ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無(☒ 有・無)
・通報件数(年〇件)
・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無(☒ 有・無)
・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無(☒ 有・無)
・周知の方法
医療安全マニュアルへの掲載及び配布
入職時研修会での共有、院内グループウェア(デスクネッツ)への掲載

(様式第 8-3)

令和 3 年 がん研発 第 029 号
令和 3 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

公益財団法人がん研究会 有明病院
開設者名 公益財団法人がん研究会
理事長 浅野 敏雄

公益財団法人がん研究会 有明病院の第三者による評価を受審する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1 受審予定である第三者評価

1 公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価のうち、一般病院3による評価
2 Joint Commission Internationalが実施する、JCI認証による評価
3 ISO 規格に基づく、ISO 9001 認証による評価

(注)上記のいずれかを選択し、番号に○を付けること。

2 第三者評価を受けるための予定措置

2022年5月に公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価のうち、一般病院3を受診予定。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により受審期間が延期されたため、認定期間は2022年2月19日から2022年5月まで延長。
